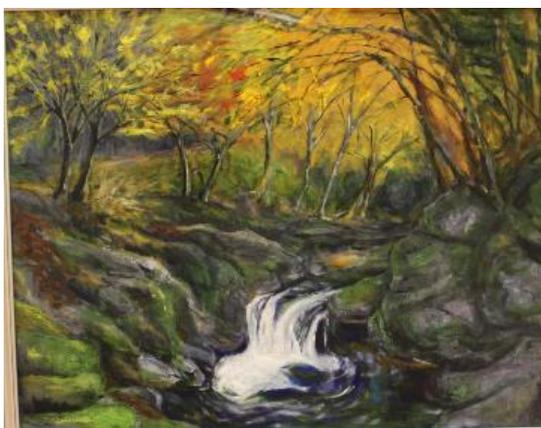
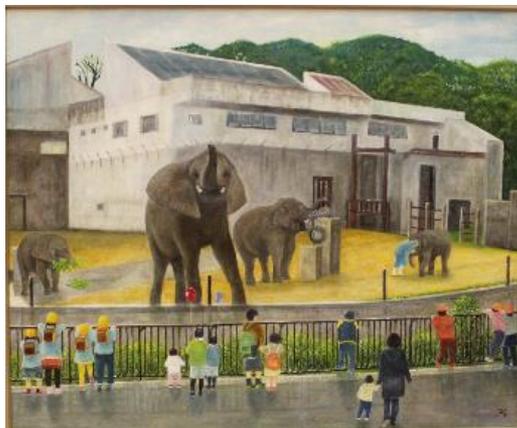
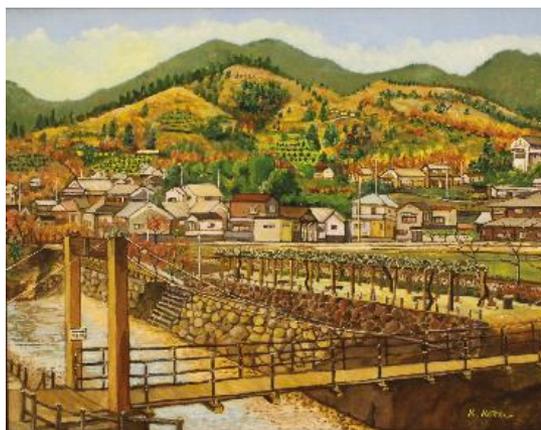
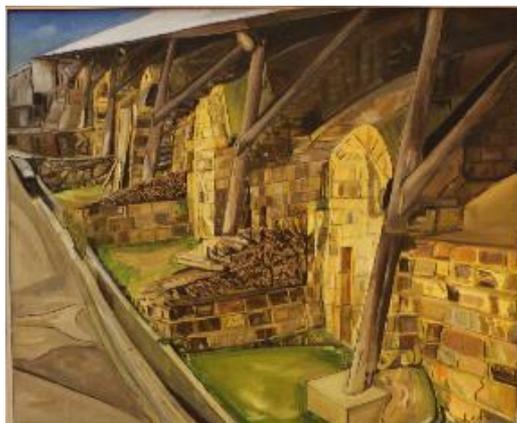


動き、動かすマネジメント

～マネジメントのための公会計実務～



※砥部町を描く絵画展より

平成30年4月25日
愛媛県砥部町 田中弘樹

プロローグ

～ あなたが思うまちづくりって？ ～





まちづくりと聞いてどんなことを思い浮かべますか？

- 企業誘致による雇用創出
- シャッター通り改善などで地場産業の衰退に歯止め
- 子育て支援
- 山村と都市の人的交流
- 地域や地元生産物の活性化・ブランド化
- ICTの利活用(情報入手・情報交流・情報発信)
- 各種イベント

などなど

いろいろ考えられることはあるけれど・・・

まちの特色や中長期的なビジョンは？
将来に渡ってのお金の話しは？

(各種計画、中長期の財政見通しなど)

まちは、

将来消えてなくなることのない究極のゴーイングコンサーン
(持続可能性)

- ◆ 財政状況が悪くなったので、道路や水道、学校などの分野から撤退しますなんて言えない。
- ◆ 一つひとつの事業や施設は大切だが、すべてを今のまま残せば、自治体運営は成り立たない。
- ◆ 住民の反対など、一度始めた事業はなかなかやめられない。
- ◆ 長期的なビジョンをもって、本当に必要なものは何かを今考えなくては・・・

真に必要なものを選択し、ずっと続けていく。これだってまちづくり。

将来にわたり、組織をずっと継続していくためには、まず会計のことを知らなくては・・・。

Engage in the Public Interest
社会に貢献する公認会計士

「これより天下のことを知る時は、 会計もっとも大事なり」

坂本龍馬 -1867年 語録-

新しい国をつくる時、坂本龍馬は
土佐藩の重臣、後藤象二郎に手紙を書きました。
財政担当には、会計に精通している
福井藩士、三岡八郎(由利公正/後、東京府知事)を
採用すべしと。



日本公認会計士協会東京会
The Japanese Institute of Certified Public Accountants Tokyo Chapter
公認会計士協会 東京会 | 検索 | <http://tokyo.jicpa.or.jp/>

龍馬さん、いまもそうですね。

※「これより天下のことを知る時は、会計もっとも大事なり」 出典：土佐藩士、佐佐木高行著「保古飛鳥社」、慶応三年八月二十八日、龍馬との会話の日記より

実態を把握して、明日へのビジョンが描けるものこそリーダーに立つべきであると、龍馬は考えたのです。財政を考えると、事業を展開するとき、「会計もっとも大事なり」は、今も本質をついているように感じませんか。

日本公認会計士協会東京会



1 なぜ、公会計なの？

～現状認識～

2 羅針盤 中長期的なビジョン

～目指すべき場所～

3 自立へ セグメント情報

～目指すべき場所へ向かう交通手段～

4 自立から対話へ まちづくり体験塾

～枠を越えていこう～

※本資料は、過去、公会計に取り組んだ際の体験談のほか、意見に関する部分は私見であることを申し添えます。



1 なぜ、公会計なの？

～現状認識～

唐突ですが・・・今朝起きて、どれほど水道水を使いましたか？
ここに来るまで、道路や橋をどれほど通ってきましたか？



↑ 橋崩落



↑
道路陥没

トンネル天井崩落



使えなくなるかもしれないなんて考えたこと
ありますか？ 無関心？or絶対的信頼？

道路には、高速自動車国道、国道、それから県道や市町村道などの地方道があります。道路の総延長121万km(地球30周くらい)となっています。このうち市町村道は84%にもなります。

橋梁については、長さ15m以上の橋が16万橋あります。もっと短い橋、例えば長さ2m以上だと68万橋にもなります。

道路や橋だけではなく、高度成長期に整備された多数の施設・設備が40~50年を経過し一斉に老朽化してきます。今ある施設をそのまま維持していくことは、多くの自治体でも困難だろうと予想されています。

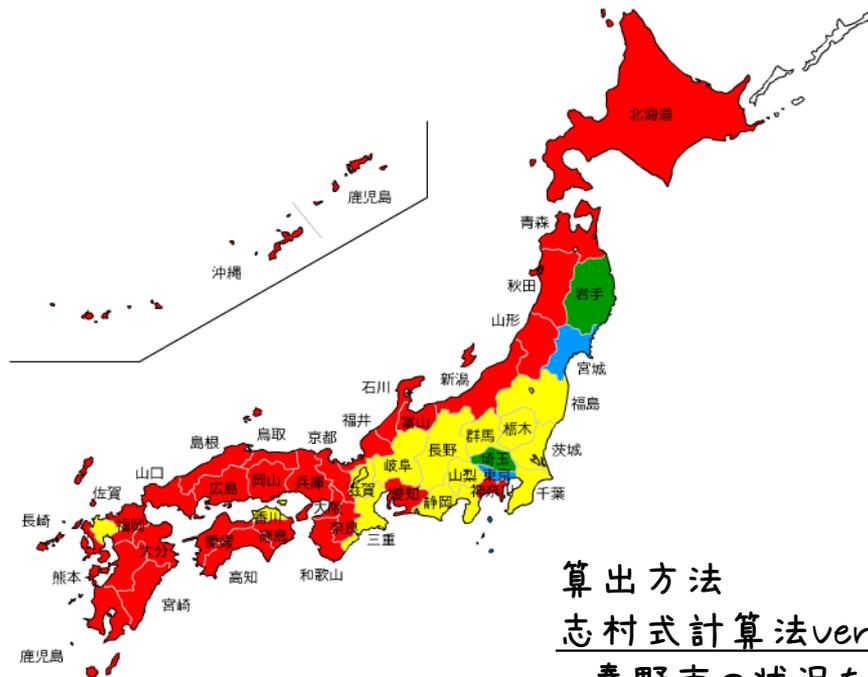
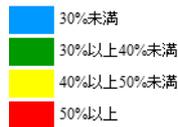


全ての人々が危機感を持つために(資産の総量を考える)

(全1742市区町村のデータから)

今後40年でどのくらいの公共施設削減目標が必要なのでしょうか?

※出典:「地方自治体公民連携研究財団客員研究員志村高史氏(神奈川県秦野市職員)」



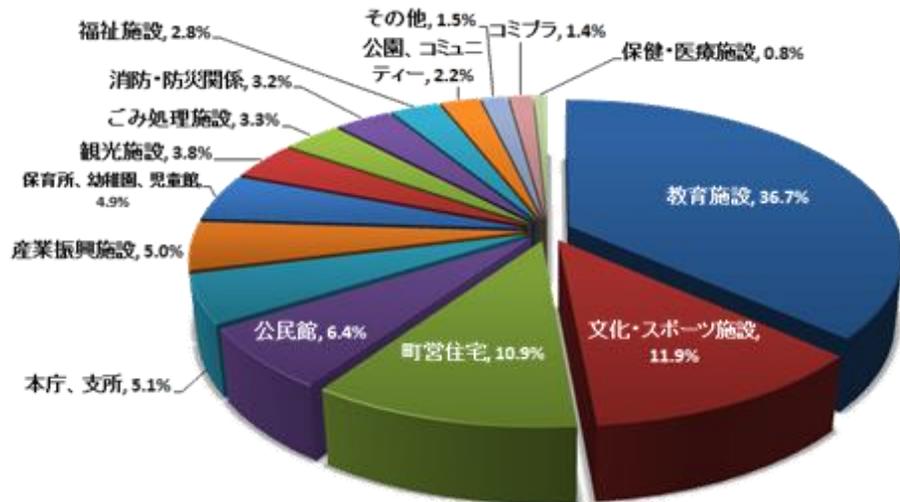
算出方法

志村式計算法Ver.2

秦野市の状況をもとに、人口や公共施設面積、国県補助金、地方債残高、基金残高などを加味して相対的に計算したもの。



砥部町公共施設の用途別面積割合



インフラ資産を除くと、なんと約半分が教育施設と文化・スポーツ施設なのです。



単位:㎡

	砥部地区	宮内地区	麻生地区	広田地区	計
23年度末人口(人)	6,409	6,211	8,672	914	22,206
教育施設	5,453.76	9,606.62	7,030.71	8,682.19	30,773.28
文化・スポーツ施設	89.18	9,772.79		73.66	9,935.63
町営住宅	4,137.71	1,294.80		3,725.52	9,158.03
公民館	427.65	4,974.88			5,402.53
本庁、支所		4,254.77			4,254.77
保育所、幼稚園	1,122.00	1,386.72	1,393.78	205.70	4,108.20
産業振興施設	1,178.64		32.10	3,013.63	4,224.37
ごみ処理施設	111.22	2,673.07			2,784.29
消防・防災関係	649.39	305.53	752.25	1,003.56	2,710.73
観光施設	2,505.07	630.17	77.00		3,212.24
老人福祉施設	496.00		519.28	1,343.62	2,358.90
公園、コミュニティー	158.86		466.24	1,237.01	1,862.11
コミプラ	419.49	407.37	309.17		1,136.03
保健・医療施設		651.00			651.00
その他	21.06	49.51	17.76	1,177.02	1,265.35
合計	16,770.03	36,007.23	10,598.29	20,461.91	83,837.46

単位:人

	人口推計			
	平成27年	平成32年	平成37年	平成42年
10~14歳	1,027	832	728	677
0~9歳	1,487	1,340	1,246	1,156
60歳以上	8,047	8,408	8,475	8,401
総人口	22,047	21,546	20,899	20,133

※ 出典: 人口問題研究所

● 中長期的な視点 ～中長期財政計画～

本町では、三つのシナリオで15年後までの財政見通しを用意。



基準シナリオ

- 今後、新規事業をしない場合



上限シナリオ

- 施設を築後40年経過した時点、あるいは、耐用年数が経過した時点ですべて更新したと仮定する場合



順当シナリオ

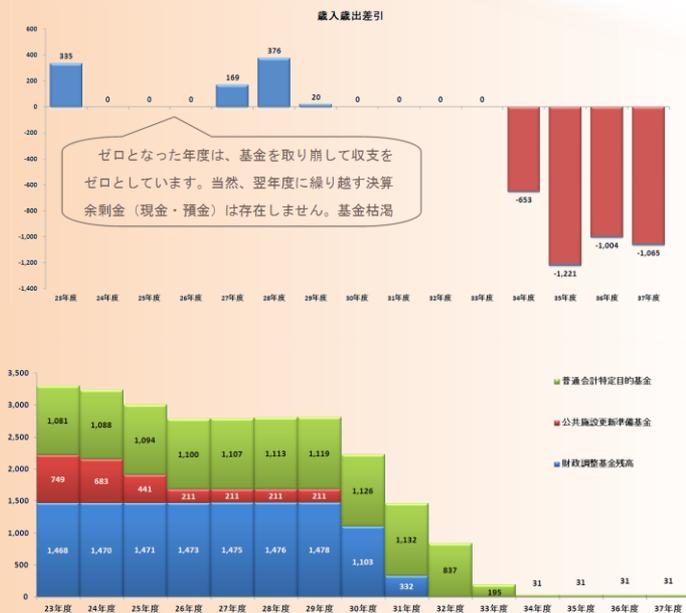
- 予算が組めるまで施設更新をあきらめた場合
- 目標ライン



圧縮の幅を施設の更新
というものさしではかったら・・・

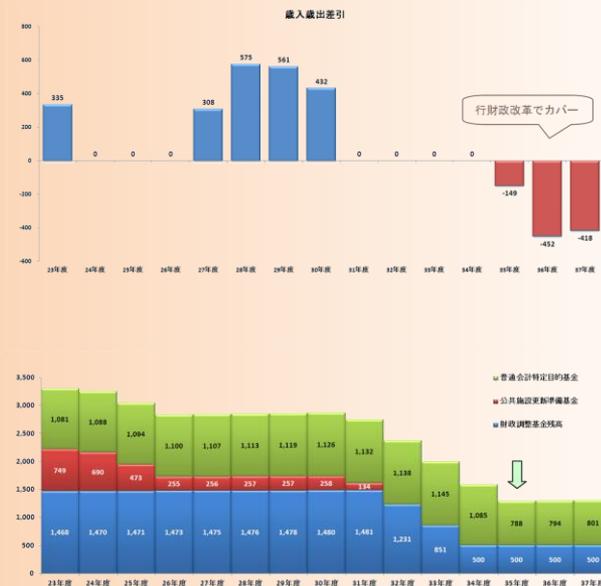
※砥部町の財政規模は70億円前後で、人口は2万2千人程度です。

上限シナリオ



- 15年後までの累積赤字は約40億円
- 30億円を超える基金も枯渇

順当シナリオ



- 予算が組めるまで、更新優先順位の低い施設の更新をあきらめていきます。

順当シナリオは、予算が組めるラインということなので、とりあえず目標ということになります。また、上限シナリオと順当シナリオのかい離幅は、行財政改革の幅とも言えるのではないのでしょうか。

収支ギャップ悪化



ワニの口を閉じよ

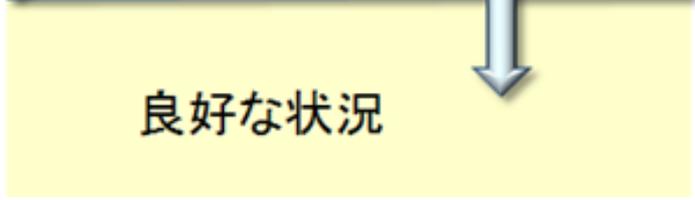
上限シナリオ

行財政改革



順当シナリオ
(採算ライン)

良好な状況



施設更新の優先順位

いくつかの項目を設定して、公共施設に得点をつけてみました。上限シナリオから予算が組める順当シナリオになるまで、優先順位の低い施設更新をあきらめていきます。

施設更新優先順位評価シート

優先順位	施設名	評価点	住所	取得年度	耐用年数	基本データ										コスト部門					施設部門								
						15年後の劣化比率(%)	更新予定時期	更新時ユニットコスト(千円)	更新時固定費(千円)	更新時地方費(千円)	一般費	現状ユニットコスト(千円)	現状の劣化率(%)	劣化率	更新率	更新率	更新率	更新率	更新率	更新率	更新率	更新率	更新率	更新率					
1	山田集塵浄化槽	79	〒1161-1	1972	50	100.0	2022	10,000			10,000	6,139	206,909	100.0%	-	10	-	10	4,999	20			優待・補償済	0	優待(比率0%以下)	0	必償・非市場施設	30	
2	向原谷集塵浄化槽	79	北川649	1970	50	100.0	2023	10,000			10,000	10,000	503,209	100.0%	-	10	-	10	2,811	20			優待・補償済	0	優待(比率0%以下)	0	必償・非市場施設	30	
3	宮内池埋蔵	79	宮内池	1972	47	100.0	2019	90,500	30,193	45,200	15,197	43,854	2,842,339	64.0%	入数/定員	10	-	10	▲9,796	5			まだ	15	優待(比率0%以下)	0	必償・非市場施設	30	
4	中央公民館(子育て支援施設)	79	宮内1959	1966	47	100.0	2019	197,000			125,400	71,600	2,206,892	34.7%	入数/定員	5	-	10	▲5,921	10			まだ	15	優待(比率0%以下)	0	必償・非市場施設	30	
5	高井野集塵浄化槽	79	高井野1630	1995	22	100.0	2017	50,000	21,340	21,400	2,250	2,270	50,000	66.0%	入数/定員	5	-	10	▲2,105	15			優待・補償済	0	優待(比率0%以下)	0	必償・非市場施設	30	
6	麻生小プール	79	高尾田760	1970	47	100.0	2017	200,000	18,570	136,000	45,427	2,306,100	66.0%	入数/定員	5	-	10	▲2,306	15			優待・補償済	0	優待(比率0%以下)	0	必償・非市場施設	30		
7	玉立小プール	79	玉立675	1970	47	100.0	2020	150,000	9,289	105,500	35,214	890	41,830	66.0%	入数/定員	5	-	10	▲990	10			優待・補償済	0	優待(比率0%以下)	0	必償・非市場施設	30	
8	高井野小プール	79	高井野1147	1970	47	100.0	2020	100,000	9,289	68,000	22,714	622	29,234	66.0%	入数/定員	5	-	10	▲622	10			優待・補償済	0	優待(比率0%以下)	0	必償・非市場施設	30	
9	神楽池(戸)(CSB)	79	結草1145	1964	24	100.0	計画段階内	45,630			45,630	30	459	11,616	100.0%	入数/定員	10	-	10	▲421	15			まだ	15	優待(比率0%以下)	0	必償・非市場施設	30
10	出雲美田(戸)(S39-A)	79	高井1151	1964	24	100.0	計画段階内	15,210			15,210	10	194	4,444	100.0%	入数/定員	10	-	10	▲194	15			まだ	15	優待(比率0%以下)	0	必償・非市場施設	30
11	出雲美田(戸)(S39-B)	79	高井1151	1964	24	100.0	計画段階内	45,630			45,630	30	459	11,616	100.0%	入数/定員	10	-	10	▲999	15			まだ	15	優待(比率0%以下)	0	必償・非市場施設	30
12	立田老人憩の家	79	結草1987	1970	24	100.0	計画段階内	41,175			32,900	8,276	3,295	79,000	20.0%	設備済	0	-	0	▲8,276	15			まだ	15	優待(比率0%以下)	0	必償・非市場施設	30
13	大塚集塵浄化槽	79	川井1724	1974	50	100.0	2024	5,000			5,000	3,799	199,950	100.0%	-	10	-	10	▲1,804	15			優待・補償済	0	優待(比率0%以下)	0	必償・非市場施設	30	
14	富士集塵浄化槽	79	北川1929	1974	50	100.0	2024	5,000			5,000	3,820	191,000	100.0%	-	10	-	10	▲1,821	15			優待・補償済	0	優待(比率0%以下)	0	必償・非市場施設	30	
15	川井池埋蔵浄化槽	79	川井1459	1974	50	100.0	2024	5,000			5,000	3,800	195,150	100.0%	-	10	-	10	▲1,175	15			優待・補償済	0	優待(比率0%以下)	0	必償・非市場施設	30	
16	藤井集塵浄化槽	79	結草162-1	2001	15	100.0	2016	17,899			13,000	4,899	1,160	17,899	100.0%	設備済	10	140	20	▲1,160	10			優待・補償済	0	優待(比率0%以下)	0	必償・非市場施設	30
17	藤井分団給所	79	外山229	2001	24	100.0	2025	9,000			9,700	2,300	375	9,000	10.0%	-	0	-	10	▲375	15			優待・補償済	0	優待(比率0%以下)	0	必償・非市場施設	30
18	藤井分団給所	79	外山234-0	1991	34	100.0	2025	4,000			3,000	1,000	110	4,012	10.0%	-	0	-	10	▲110	15			優待・補償済	0	優待(比率0%以下)	0	必償・非市場施設	30
19	藤井分団給所(倉庫)	79	川井996	1991	34	100.0	2025	13,000			9,700	3,300	382	12,989	10.0%	-	0	-	10	▲382	15			優待・補償済	0	優待(比率0%以下)	0	必償・非市場施設	30
20	藤井分団給所(倉庫)	79	宮内1391	2001	24	100.0	2025	22,000			16,400	5,600	757	16,160	10.0%	-	0	-	10	▲757	15			優待・補償済	0	優待(比率0%以下)	0	必償・非市場施設	30
21	藤井分団給所(倉庫)	79	宮内999	1991	34	100.0	2025	22,000			16,400	5,600	757	25,730	10.0%	-	0	-	10	▲757	15			優待・補償済	0	優待(比率0%以下)	0	必償・非市場施設	30
22	藤井分団給所	79	山崎461	1990	24	100.0	2014	9,000			9,700	2,300	375	9,000	10.0%	-	0	-	10	▲375	15			優待・補償済	0	優待(比率0%以下)	0	必償・非市場施設	30
23	藤井分団給所(倉庫)	79	玉立140-1	1984	34	100.0	2016	4,000			3,000	1,000	110	4,012	10.0%	-	0	-	10	▲110	15			優待・補償済	0	優待(比率0%以下)	0	必償・非市場施設	30
24	神楽池(戸)(CSB)	79	結草1145	1964	24	100.0	計画段階内	45,630			45,630	30	559	13,416	33.3%	入数/定員	5	-	10	▲548	15			まだ	15	優待(比率0%以下)	0	必償・非市場施設	30
25	宮内小プール	80	宮内390	1976	47	95.1	2020	200,000	18,570	136,000	45,427	2,200	103,541	66.0%	入数/定員	5	-	10	▲2,200	15			優待・補償済	0	優待(比率0%以下)	0	必償・非市場施設	30	
26	宮内小プール	80	結草1285	1970	47	100.0	2020	150,000	9,289	105,500	35,214	2,350	110,591	66.0%	入数/定員	5	-	10	▲1,502	15			優待・補償済	0	優待(比率0%以下)	0	必償・非市場施設	30	
27	宮内小体育館	80	宮内340	1976	47	100.0	2022	377,720	69,259	231,000	77,161	3,280	184,201	66.0%	入数/定員	5	-	10	▲3,280	15			優待・補償済	0	優待(比率0%以下)	0	必償・非市場施設	30	
28	宮内小体育館(倉庫)	80	宮内340	2006	15	100.0	2021	9,000	1,900	5,300	1,600	800	9,000	66.0%	-	5	-	10	▲800	15			優待・補償済	0	優待(比率0%以下)	0	必償・非市場施設	30	
29	結草小体育館	80	大塚1039	1972	47	100.0	2019	978,900	69,259	202,200	72,441	4,669	219,443	66.0%	入数/定員	5	-	10	▲4,669	15			優待・補償済	0	優待(比率0%以下)	0	必償・非市場施設	30	
30	結草小体育館(倉庫)	80	大塚1039	1980	31	100.0	2019	9,000	1,900	5,300	1,600	291	9,021	66.0%	-	5	-	10	▲291	15			優待・補償済	0	優待(比率0%以下)	0	必償・非市場施設	30	
31	結草小体育館	80	結草1283	1976	47	100.0	2022	204,000	69,553	119,400	53,847	2,938	122,996	66.0%	入数/定員	5	-	10	▲2,938	15			優待・補償済	0	優待(比率0%以下)	0	必償・非市場施設	30	
32	中央公民館	80	宮内1099	1966	47	100.0	2010	393,800			296,800	148,100	71,820	3,000,381	19.0%	入数/定員	0	191	10	▲70,110	3			まだ	15	優待(比率0%以下)	0	必償・非市場施設	30
33	宮内小体育館	80	宮内340	1976	47	100.0	2022	1,195,020	150,640	739,200	246,172	40,194	2,176,639	66.0%	入数/定員	5	-	10	▲40,194	5			優待・補償済	0	優待(比率0%以下)	0	必償・非市場施設	30	

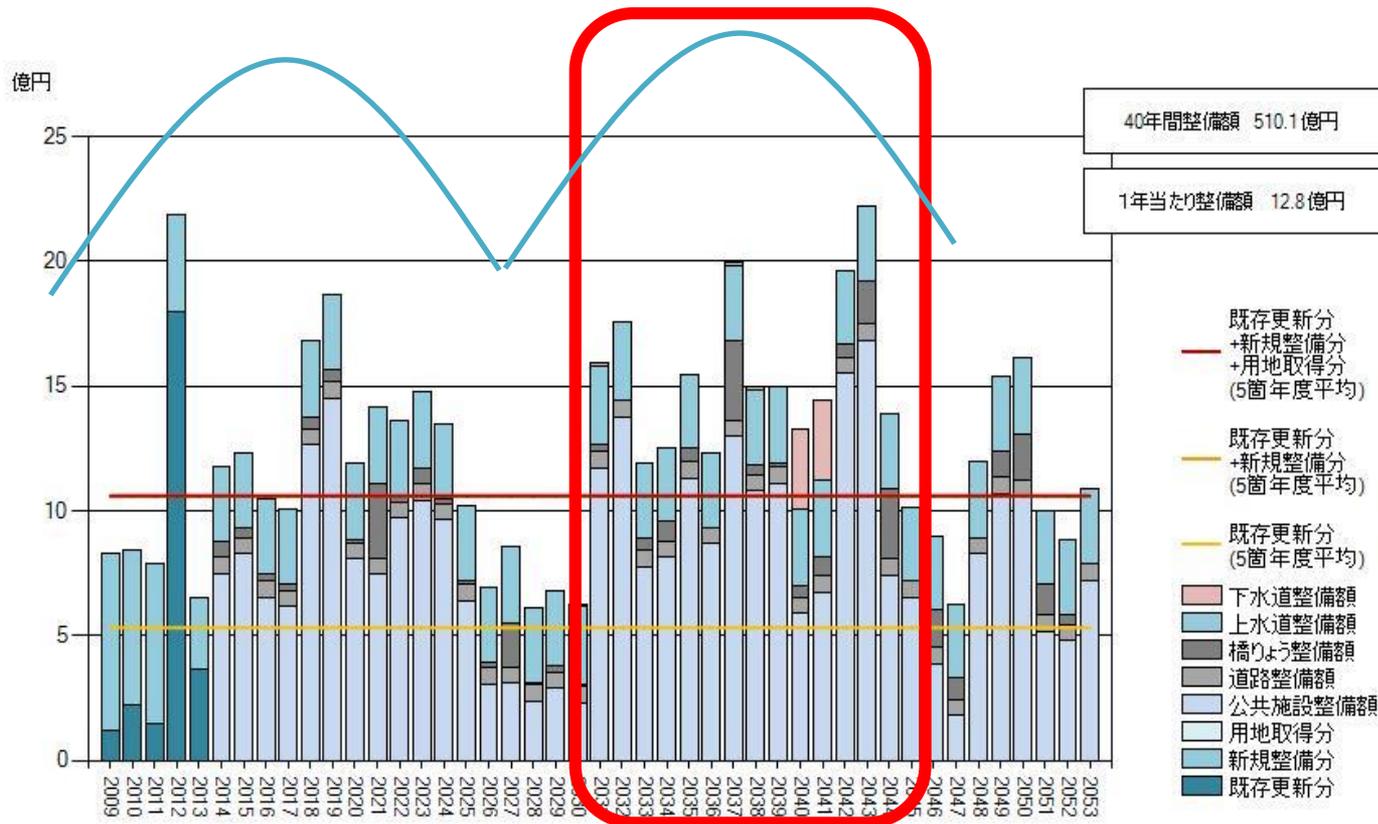
左図は、優先順位の高いもの33傑。



ただし、予算が組めるであろうラインまで近づけたとしても・・・

砥部町の公共資産更新推計

総務省試算ソフトを使って試算してみました！ 体力を失ったあとに二つ目の山がくるとかなりきつい。



↑長寿命化、再配置など15年後くらいまでは何とかいけるかも



15年後くらいから30年後くらいまで

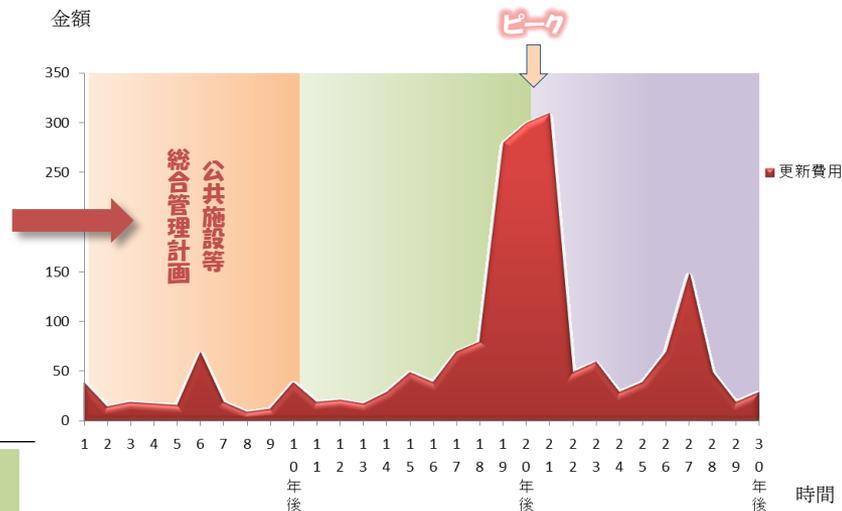
最初の15年で体力を失ってはいけな
いが...



公共施設等総合管理計画などでも ピークはどこかを掴む!

更新時期別ポートフォリオを30年後まで作成してみようか?

公共施設の時期更新費用



更新年度別のポートフォリオのイメージ
*ポートフォリオ・・・資産の組み合わせ

今から10年後まで

10年後までポートフォリオ
平成n～n+10年度

施設名	更新費用	地方債	国庫	その他	一般財源
A施設	50	20	25	0	5
B施設	100	30	50	10	10
C施設	80	70			10
⋮					

10年後から20年後まで

10～20年後までポートフォリオ
平成n+11～n+20年度

施設名	更新費用	地方債	国庫	その他	一般財源
D施設	900	800	0	0	100
E施設	100	30	50	10	10
F施設	80	70			10
⋮					

20年後から30年後まで

20～30年後までポートフォリオ
平成n+21～n+30年度

施設名	更新費用	地方債	国庫	その他	一般財源
D施設	400	300	0	0	100
E施設	80	40			10
F施設	80				80
⋮					

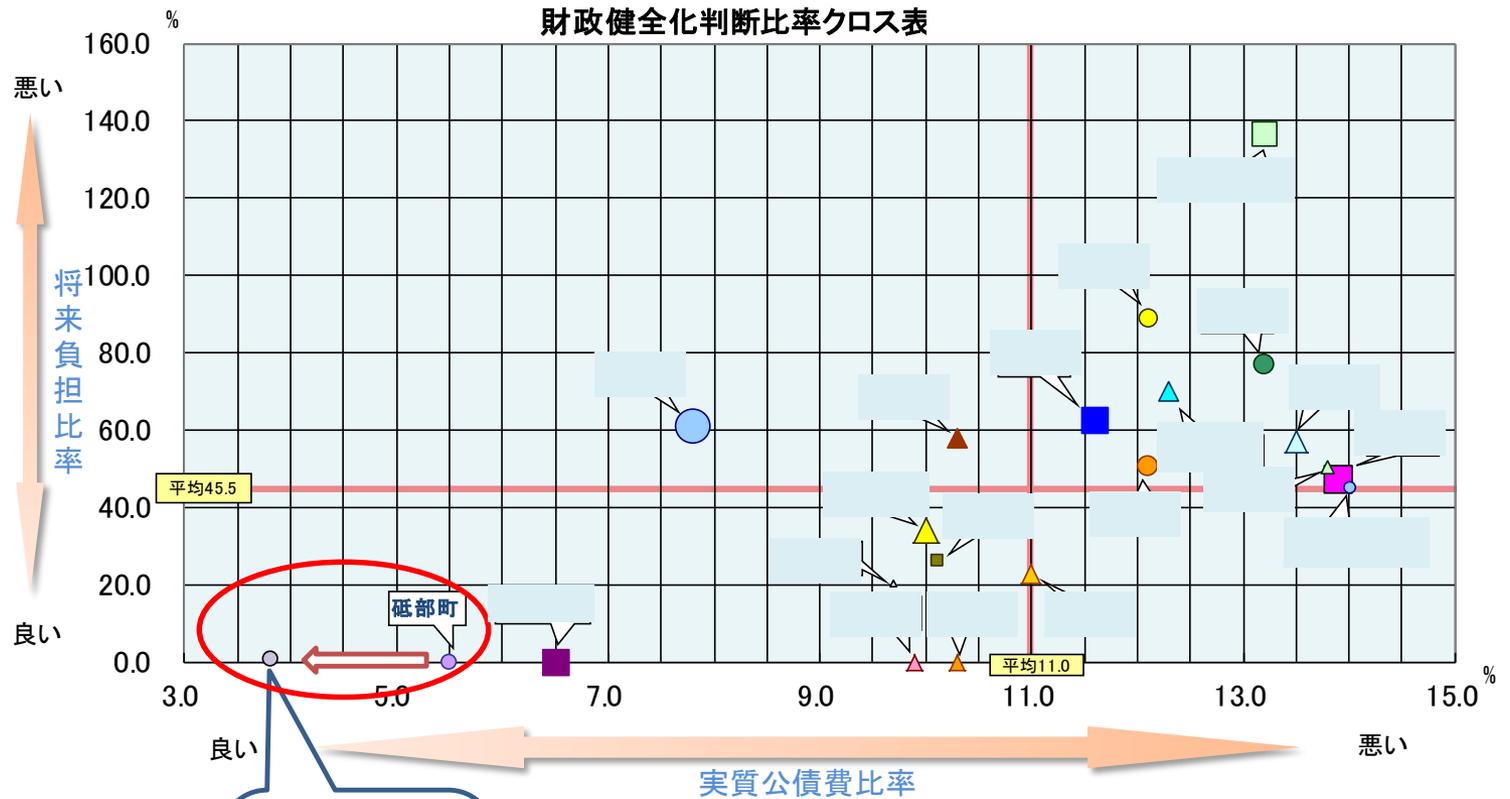


ピークはどこ?これ大事ね!
このポートフォリオがあれば
一般財源まで一目瞭然。

30年後までのポートフォリオと更新ピークがいつか分かっていると、たとえ10年間の公共施設等総合管理計画作成であっても全体理解がしやすくなるわね。

※計画は10年以上となっており最短だと10年の計画となります。

では、今の砥部町の財政状況は、良いのか、悪いのか。

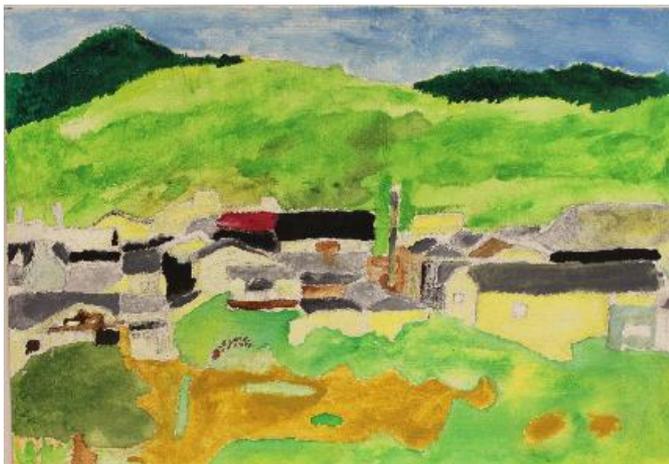
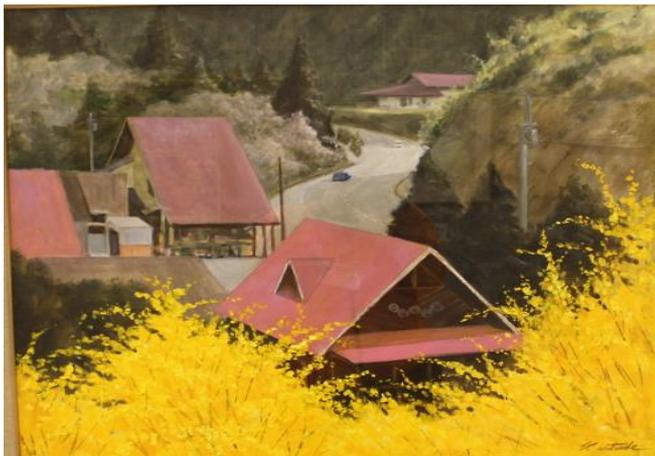


砥部町の場合、実質公債費比率、将来負担比率ともに県下でトップレベルの良好な状況である。

砥部町のH26比率
 実質公債費比率
 3.8%
 (H25は5.5%)
 将来負担比率
 0.0%

2 羅針盤 中長期的なビジョン

～目指すべき場所～



※砥部町を描く絵画展より

砥部町の中長期収支見通し と財政運営フレーム



2012/02/14

対象期間:平成 23 年度～平成 37 年度

愛媛県砥部町

2012年当時の砥部町の中長期財政見通しです。

上限シナリオ

砥部町新中長期財政計画 本編

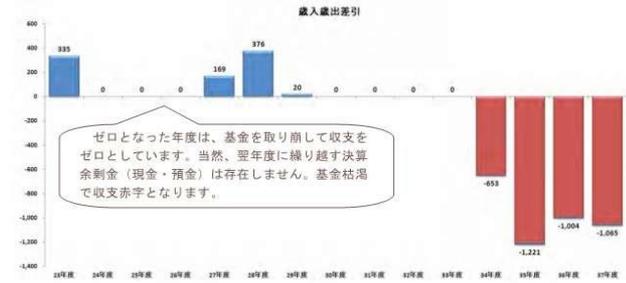
(2) 収支見通し

平成 25 年度以降、臨時財政対策債を 3 億円発行しても、平成 34 年度には全基金が底をつき、予算が拮据くなります。平成 34 年度から 37 年度までの累積赤字は、39 億 4 千 3 百万円に達します。赤字地方である臨時財政対策債には、発行可能限度額があり、これを超えて発行することはできません。平成 25 年度以降は、3 億円程度を限度額と想定し、満額借り入れたとしての推計です。

上限シナリオ

図表 4-12 歳入歳出差引額の見通し（上限シナリオ）

単位：百万円

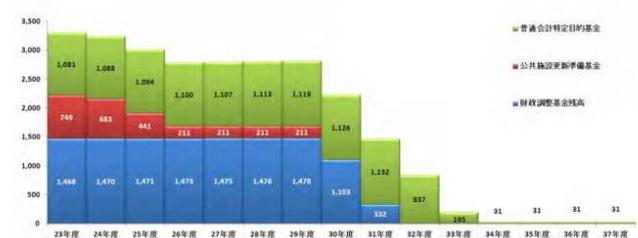


(3) 基金の見通し

施設更新には、まず公共施設更新準備基金から充当します。この基金が平成 30 年度に底をつき、次に財政調整基金が 32 年度でなくなります。平成 34 年度には、奨学基金（3,070 万円）を除く普通会計の全基金を使い切ります。

図表 4-13 基金の見通し（上限シナリオ）

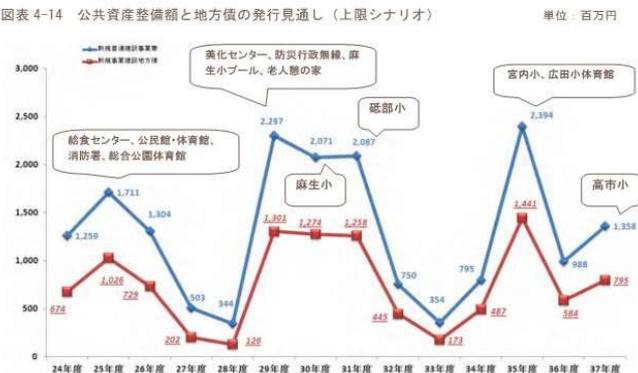
単位：百万円



(4) 資産形成費用と充当地方債

上限シナリオでの事業費と地方債借入の見通しは次のとおりです。

図表 4-14 公共資産整備額と地方債の発行見通し（上限シナリオ）



図表 4-15 推計期間における資産整備事業費と地方債発行見込み額

	平成 23～27 年度	平成 28～32 年度	平成 33～37 年度	計
事業費	7,177 百万円	7,549 百万円	5,889 百万円	20,615 百万円
地方債発行額	4,389 百万円	4,404 百万円	3,480 百万円	12,273 百万円

平成 23 年度からの 15 年間で予想される普通建設事業費総額は、206 億円です。この事業のために発行する地方債は、123 億円となります。臨時財政対策債は含んでいません。

平成 24 年度

砥部中学校改築（継続費の最終年）1 億 9 千 3 百万円、ゆとり公園体育館設計（国体）7 百万円、文化会館・図書館施設整備 3 千 8 百万円、中央公民館・体育館耐震設計 1 千万円、砥部消防署 2 千 1 百万円、上野集浄化槽解体 2 千 3 百万円、砥部児童館 3 千 6 百万円、麻生児童館 3 千 9 百万円、広田憩いの家 4 千 1 百万円、老人生きがいの家 3 千 2 百万円、農村工芸体験館 4 千 7 百万円、ふるさと生活館 2 千 2 百万円、町営住宅 3 億 2 千万円ほか

平成 25 年度

給食センター 1 億 1 千 5 百万円、ゆとり公園体育館改修（国体）1 億 4 千万円、中央公民館・体育館耐震補強 5 億 8 千 1 百万円、砥部消防署 3 億 9 千 9 百万円、文化会館・図書館施設整備 6 百万円、子育て支援施設設計 190 万円ほか

上限シナリオ

順当シナリオ
優先順位

4 順当シナリオ

(ア) 老朽施設更新の優先順位

予算が組めるシナリオを、順当シナリオと位置付けます。順当シナリオでは、更新優先順位の高い施設から更新すると仮定し、どこまでなら予算が組めるかを推計しました。まずは、施設更新優先順位評価シートをご覧ください。

図表 4-22

施設更新優先順位評価

優先順位	施設名	評価点	住所	取得年数	耐用年数	10年後の劣化率(%)	更新予定時期	基本データ			優先順位	
								更新時に必要となる千円	更新時地方債千円	一括経費		
1	山田集浄化槽	70	山田町143-1	1972	50	130.0	2022	10,000			10,000	6,130
2	向原集浄化槽	70	山田町6-49	1972	50	130.0	2023	10,000			10,000	10,000
3	宮内山公園	70	山田町1561	1972	47	100.0	2019	90,500	30,190	45,200	15,117	43,454
4	中央公民館耐震補強費	70	山田町369	1966	47	100.0	2013	197,000		126,400	71,600	72,000
5	高市町職員住宅	70	高市町1626	1966	22	300.0	2017	80,000	21,240	21,400	7,200	22,770
6	麻生小プール	70	麻生町109	1970	47	100.0	2017	200,000	168,770	136,000	45,427	32,000
7	宮内小プール	70	宮内町670	1970	47	100.0	2020	190,000	9,200	108,000	86,714	600
8	高市小プール	70	高市町1147	1970	47	100.0	2020	190,000	9,200	68,000	22,714	622
9	神岡町地所(S20)	70	砥部町1145	1964	24	100.0	計画期間内	45,000		45,000	30	450
10	出成郷町地所(S20-A)	70	砥部町1151	1964	24	100.0	計画期間内	15,210		15,200	10	180
11	出成郷町地所(S20-B)	70	砥部町1151	1964	24	100.0	計画期間内	45,000		45,000	30	450
12	笠取老人館、の家	70	砥部町307	1970	24	100.0	計画期間内	41,175		32,900	8,275	3,295
13	大塚集浄化槽	70	山田町1724	1974	50	100.0	2024	5,000		5,000	5,000	3,799
14	富士集浄化槽	70	山田町1199	1974	50	100.0	2024	5,000		5,000	5,000	3,620
15	川井町集浄化槽	70	山田町1459	1974	50	100.0	2024	5,000		5,000	5,000	3,900
16	藤村集浄化槽	70	砥部町162-1	2001	15	300.0	2016	17,399		13,000	4,399	1,160
17	麻小体育館	70	外山209	2001	24	100.0	2025	9,000		6,700	2,300	976
18	麻小公民館	70	外山204-3	1991	34	100.0	2025	4,000		3,000	1,000	118
19	麻小公民館・集	70	山田町696	1991	34	100.0	2025	13,000		9,700	3,300	982
20	麻小公民館・集	70	山田町391	2001	24	100.0	2025	22,000		16,400	5,600	767
21	麻小公民館・集	70	山田町699	1991	34	100.0	2025	22,000		16,400	5,600	767
22	麻小公民館・集	70	山田町461	1990	24	100.0	2014	9,000		6,700	2,300	976
23	麻小公民館・集	70	山田町149-1	1984	34	100.0	2018	4,000		3,000	1,000	118
24	神岡町地所(S20)	70	砥部町1145	1964	24	100.0	計画期間内	45,000		45,000	30	450
25	宮内小プール	60	高市町640	1976	47	85.1	2023	200,000	18,670	136,000	45,427	2,000
26	宮内小プール	60	高市町306	1970	47	100.0	2020	190,000	9,200	108,000	86,714	2,365
27	宮内小体育館	60	高市町640	1976	47	100.0	2023	377,720	69,250	251,000	77,161	3,263
28	宮内小体育館	60	高市町640	2006	15	100.0	2021	9,000	1,900	5,300	1,800	600
29	給食センター	60	大野町1009	1972	47	100.0	2019	376,000	69,250	252,200	77,441	4,669
30	給食センター	60	大野町1009	1980	31	100.0	2019	9,000	1,900	5,300	1,800	291
31	公民館	60	山田町300	1976	47	100.0	2023	294,800	60,000	161,400	53,641	3,608
32	中央公民館耐震補強	60	山田町369	1966	47	100.0	2013	393,000		255,000	141,100	71,023
33	宮内小体育館	60	高市町640	1976	47	100.0	2023	1,136,200	190,640	708,200	246,772	40,584

つづき

優先順位	施設名	評価点	住 居	取得年度	利用年度	15年間の更新率(%)	基本データ					
							更新予定時期	更新時インシデント発生率(%)	更新時国土価額(千円)	更新時地方債(千円)	一般財源	現状ランニングコスト(千円)
34	生涯学習棟	66	延部382	1999	22	1900	2021	52,500	42,000	10,500	38,614	
35	衛生保健棟	65	高尾21077	1999	22	1900	計画更新	39,976	31,100	7,876	5,925	
36	延部公民館	65	宮口115	1999	22	1900	計画更新	26,456	29,100	2,644	5,304	
37	竹野保健センター(SpA)	65	宮口360	1994	24	1900	計画更新	15,210	15,200	10	188	
38	竹野保健センター(SpA)	65	宮口360	1994	24	1900	計画更新	15,210	15,200	10	185	
39	竹野保健センター(SpA)	65	宮口360	1993	24	1900	計画更新	45,620	45,620	0	403	
40	竹野保健センター(SpA)	65	延部1148	1994	24	1900	計画更新	91,200	91,200	0	910	
41	延部小中学校	65	大南1039	1972	47	1900	2019	1,974,700	128,959	309,690	256,641	68,936
42	延部小中学校	65	大南1184	1972	47	1900	2019	200,000	18,879	136,000	48,427	5,229
43	延部小中学校	65	高尾2190	1971	47	1900	2018	379,540	70,626	239,955	77,404	7,088
44	延部保健センター	65	高尾2890	1991	34	1900	2025	13,000	9,900	3,300	493	
45	延部保健センター	65	大南709	1991	34	1900	2025	13,000	9,900	3,300	493	
46	延部保健センター	65	高尾2190	1971	47	1900	2018	1,413,820	184,088	922,100	307,432	64,528
47	延部センター	65	川井1957	1964	50	90	2014	775,000	100,000	806,200	168,800	193,769
48	延部センター	65	大南710	1976	47	1900	2022	140,800				71,317
49	延部老人福祉の家	60	柳野170	1907	50	1900	2017	84,804	67,900	16,994	5,544	
50	老人生活かほの家	60	松野151-1	1990	24	1900	計画更新	29,994	31,900	7,994	3,927	
51	延部公民館	60	大南711	1976	47	1900	2022	58,860	19,620	29,430	9,840	36,489
52	延部公民館	60	柳野170	1976	47	1900	2023	89,370	29,700	44,800	14,980	47,822
53	文化センター	60	川井566番地3	1997	20	1900	2017	1,205,000	441,600	662,500	220,900	317,568
54	延部公民館	60	千足400	-	10	1900	2011-15	80,000		80,000	0,000	
55	農村工芸体験棟	60	延部117	1990	16	1900	計画更新	47,200	36,400	11,800	4,561	
56	延部公民館	60	延部140-1	2000	24	1900	2024	103,853	77,600	26,953	9,722	
57	千足地区公民館特別棟	60	川井693	1995	50	1900	2016	34,765	34,765	0	3,588	
58	ふるさと生涯棟	60	延部159-1	1997	24	1900	計画更新	29,975	21,700	7,275	1,902	
59	こどもの館	60	上野野240	1980	40	92.5	計画更新	19,268	14,400	4,868	39,704	
60	延部公民館	60	延部1361	1996	34	1900	2020	1,182		1,182	389	
61	延部公民館	60	延部723	1981	38	1900	2019	5,326		5,326	666	
62	延部公民館	60	延部1689	1996	24	1900	2020	18,164	13,600	4,564	781	
63	延部公民館	60	延部159-1	1999	19	1900	計画更新	11,900	8,900	3,000	702	
64	延部公民館	60	延部136-1	1996	34	1900	2020	1,590		1,590	47	
65	延部公民館	60	延部392-1	1983	34	1900	2017	630		630	114	
66	延部公民館	60	延部394	2006	17	1900	2023	1,308		1,308	177	
67	延部公民館	60	川井375	2006	16	1900	2024	2,980		2,980	447	
68	延部公民館	60	川井374	2007	17	1900	2024	2,940		2,940	373	
69	延部公民館	60	延部777	1990	24	1900	2017	15,000	11,200	3,800	648	
70	延部公民館	60	延部490	2002	10	1900	2012	7,069	1,000	6,069	704	
71	延部公民館	60	延部480	2002	10	1900	2012	17,745	13,300	4,445	176	
72	延部公民館	60	延部95-1	1999	39	1900	2020	44,540	20,400	11,140	1,423	
73	延部公民館	60	延部798	1992	22	1900	2014	12,561	10,100	2,461	617	
74	延部公民館	60	延部799	1992	22	1900	2014	13,561	10,100	3,461	617	
75	延部公民館	60	千足400	1994	39	1900	2025	3,960		3,960	529	
76	延部公民館	60	千足400	1994	39	1900	2025	14,924	11,100	3,824	481	
77	延部公民館	60	柳野11389	2007	16	1900	2022	2,297		2,297	294	
78	延部公民館	60	千足400	1994	47	66.0	2013	146,500	20,000	89,600	36,900	16,697
79	延部公民館	60	高尾1143-7	1990	22	1900	2015	86,000	63,700	21,300	27,000	
80	延部公民館	60	延部425	1988	34	1900	2022	308		308	9	
81	延部公民館	60	延部392-1	1983	38	1900	2021	1,519		1,519	436	

願望シナリオ

つづき

優先順位	施設名	評価点	住 居	取得年度	利用年度	15年間の更新率(%)	基本データ								
							更新予定時期	更新時インシデント発生率(%)	更新時国土価額(千円)	更新時地方債(千円)	一般財源	現状ランニングコスト(千円)			
82	延部公民館	60	延部432	1980	50	94.9	2024				96,760	72,680	24,200	16,133	
83	延部公民館	60	延部101	-	-	-	2024							0	
84	延部公民館	60	高尾2890	1990	39	1900	計画更新							0	
85	延部公民館	60	延部713	1989	24	1900	計画更新							0	
86	延部公民館	60	延部397	1979	34	1900	計画更新				4,300	0	2,000	1,900	
87	延部公民館	60	延部1392	1986	39	1900	計画更新				38,020		38,020		
88	延部公民館	60	延部1392	1982	39	1900	計画更新				8,726		8,726		
89	延部公民館	60	延部1392	1985	34	1900	計画更新				4,900		3,000	1,900	
90	延部公民館	60	川井1590	1980	47	89.4	2024				178,640		142,900	35,740	74,975
91	延部公民館	60	延部216	1981	47	90.6	2024				161,126		139,900	32,226	91,895
92	延部公民館	60	大南719	1981	59	88.0	2024				113,400		90,700	22,700	5,980
93	延部公民館	60	延部1108	2002	22	1900	計画更新				488,000	97,832	292,600	97,648	18,670
94	延部公民館	60	延部460-1	1984	47	86.1	2024				286,200	69,880	188,000	52,727	2,197
95	延部公民館	60	延部1106-1	1985	47	83.0	2024				286,200	69,880	188,000	52,727	2,176

願望シナリオ

更新時インシデント発生率(%)	更新時国土価額(千円)	更新時地方債(千円)	一般財源	現状ランニングコスト(千円)	
小計	1,645,829	236,939	1,049,690	954,291	237,881
合計	12,329,124	1,730,960	7,834,500	2,761,844	1,418,528

* 築後40年を経過した施設、または、耐用年数を経過した施設（構築・工作物、大規模修繕含む）を記載しています。

* 評価点は、それぞれ、稼働率10点、利用者数10点、年間赤字額20点、耐震状況15点、老朽化状況15点、施設目的30点を満点とする総計100満点を評価しています。

(注) 古い施設でも耐震基準を満たしていれば、優先順位は下がります。利用者数が多くても、稼働率が低ければ優先順位は下がります。学校、インフラ、福祉などといった施設目的が評価に大きく影響します。学校やインフラに比べ、観光、文化、スポーツ施設などの優先順位は低くなります。

施設更新優先順位評価シートについて

評価の方法は、稼働率、利用者数、年間収支額、耐震状況、老朽化状況、施設の目的などにより個々に得点を付しました。評価点の高い施設ほど更新の優先順位が高いこととなります。さまざまな目的を持つ公共施設を、一律に評価するには限界があり、評価方法にはまだ多くの課題を残しています。これが、そのまま現実の優先順位となるものではありません。

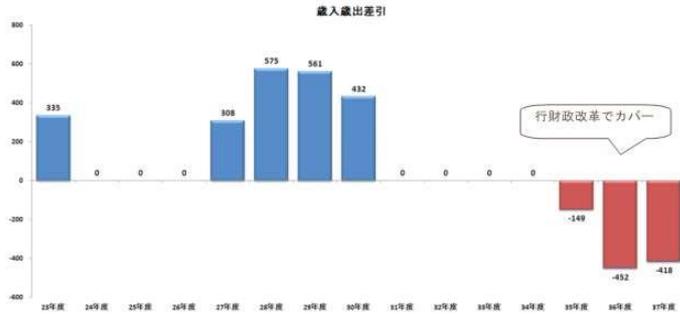
まずは、職員自らが考え優先順位表を作成！

(2) 収支見通し

平成 27 年度から 4 年間決算剰余金が出ますが、推計期間全体では、10 億 1 千 9 百万円の累積赤字となります。

図表 4-24 歳入歳出差引額の見通し (順当シナリオ)

単位：百万円



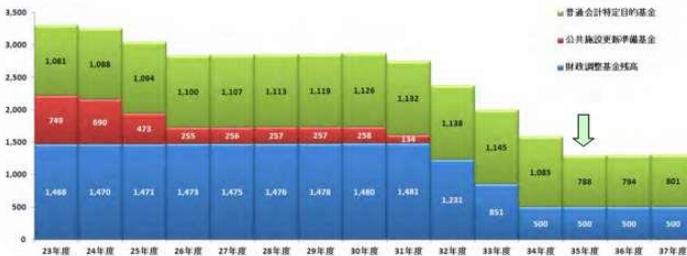
順当シナリオ

(3) 基金の見通し

公共施設更新準備基金とふるさと創生基金は、平成 35 年度で底をつきます。全基金を充当すれば、推計期間の累積赤字は解消されます。

図表 4-25 基金の見通し (順当シナリオ)

単位：百万円

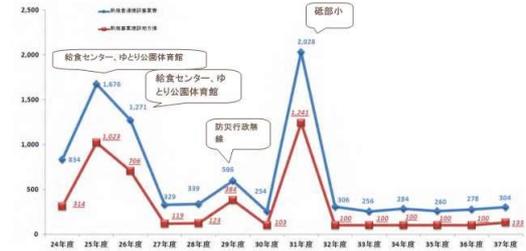


(4) 資産形成費用と充当地方債

順当シナリオにおける公共資産整備見通しと、財源は次のようになります。

図表 4-26 公共資産整備額と地方債発行の見通し (順当シナリオ)

単位：百万円



図表 4-27 推計期間における資産整備事業費と地方債発行見込み額

	平成 23～27 年度	平成 28～32 年度	平成 33～37 年度	計
事業費	6,510 百万円	3,523 百万円	1,382 百万円	11,415 百万円
地方債発行額	3,920 百万円	1,951 百万円	533 百万円	6,404 百万円

平成 24 年度

砥部中学校改築 (継続費の最終年) 1 億 9 千 3 百万円、ゆとり公園体育館設計 (国体) 7 百万円、文化会館・図書館施設整備 3 千 8 百万円、中央公民館・体育館耐震設計 1 千万円、砥部消防署 2 千 1 百万円、上野集中浄化槽解体 2 千 3 百万円、広田憩いの家 4 千 1 百万円、町営住宅 1 億 5 千万円ほか

平成 25 年度

給食センター 1 億 1 千 5 百万円、ゆとり公園体育館改修 (国体) 1 億 4 千万円、中央公民館・体育館耐震補強 5 億 8 千 1 百万円、砥部消防署 3 億 9 千 9 百万円、文化会館・図書館施設整備 6 百万円、子育て支援施設設計 190 万円ほか

26 年度

給食センター 6 億 6 千万円、ゆとり公園体育館改修 (国体) 1 億 6 千万円、砥部消防署 1 千 1 百万円、子育て支援施設 1 億 5 千万円、文化会館・図書館施設整備 2 千 3 百万円ほか

27、28 年度

ゆとり公園体育館改修 (国体) 4 千 1 百万円ほか

順当シナリオ

第5 分析

1 理想とする資産整備収支額と実際の資産整備収支額との乖離

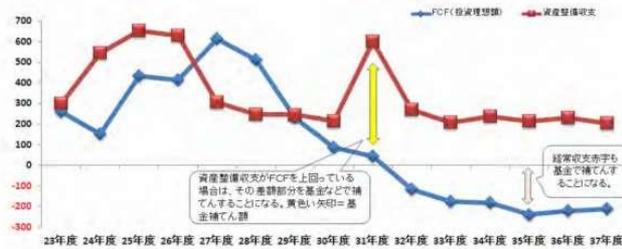
分析では、順当シナリオをベースに分析します。まず、推計した歳入歳出額をキャッシュ・フロー計算書の要領¹で「経常的収支+投資・財務的収支」と「資産整備収支」に振り分けました。資産整備収支は通常赤字となりますが、ここでは絶対値（プラス）で分析しています。また、「経常的収支+投資財務的収支」のことをフリーキャッシュ・フロー（以下、「FCF」と言います。）²と言います。

図表 5-1 は、順当シナリオで実施する事業を基に、以下の条件でFCFと資産整備収支額の推移を推計したものです。

- ①平成 25 年度以降、臨時財政対策債を毎年 3 億円発行。
- ②基金とのやりとり（取り崩し、積み立て）は、加味しない。
- ③事業の財源として発行する地方債と国県補助は、順当シナリオの見込みどおり。

FCFは資産形成のための投資に振り向けることのできる額を示しており、この黒字の範囲内で資産整備収支赤字（絶対値）が収まれば、良好な財政状況が維持できます。良好と言えるのは、平成 27～29 年度の 3 年間で、平成 27、28 年度頃から、公債費や公共下水道事業会計への事務費繰出の増加によりFCFが減少します。平成 32 年度以降はマイナスとなり、資産形成に回す余力は無いということになります。

図表 5-1 FCFと資産整備収支額との乖離（順当シナリオ） 単位：百万円



経常収支黒字と
資産整備収支赤字(絶対値)

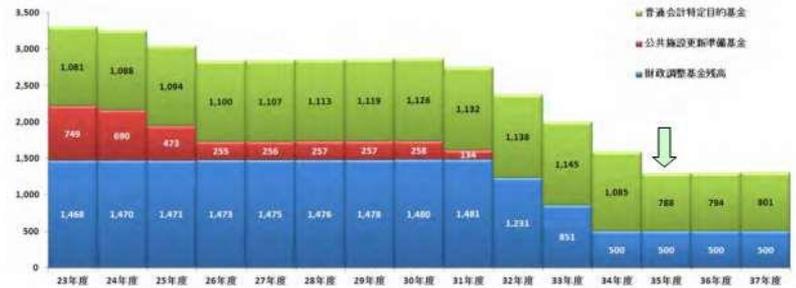
1 49 ページ参照
2 資産整備に向けてことができる自由なお金のことです。本編中のFCFは、基金が繰り入れられて加味しないFCFとしています。不足分を基金でカバーする状況を分かりやすくしています。通常のFCFとは相違点がありますので、資料編用語解説を参照してください。

分析

分析

FCFを上回る資産整備収支分とFCF自体の赤字を、基金で賄うと基金残高は図表 5-2 のとおり推移します。

図表 5-2 基金の状況（順当シナリオ、再掲） 単位：百万円

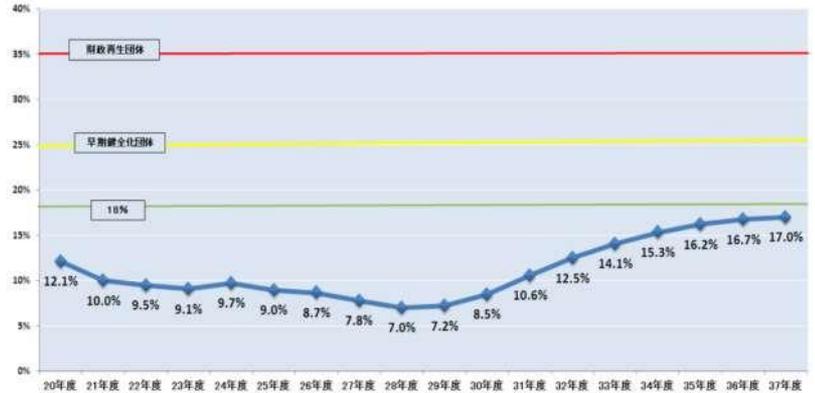


2 実質公債費比率、将来負担比率の見直し

財政健全化法に基づく実質公債費比率と将来負担比率の見直しは次のとおりです。

図表 5-3 実質公債費比率の見直し（順当シナリオ）

実質公債費比率



大型事業の地方債償還が 30 年と、超長期の借入れが可能のため、実質公債費比率の急減上昇にはなりません。平成 28 年度を底に徐々に上昇していきます。ちなみに、平成 37 年度の上限シナリオ数値は、22.5%となります。

延部町新中長期財政計画 本編

第6 財政ルール

将来見通しでは、推計の柱に老朽化施設の更新情報を据え、より現実的な推計に取り組みました。しかし、現状を把握し計画を公表するだけでは十分ではありません。長期的に健全な財政運営を行っていくには、一定の財政ルールを持ち、それを遵守していくことが必要不可欠です。

財政ルールで使用する具体的な項目は、次の三つです。

- FCFと基金
- 債務償還能力
- ルールからの逸脱と回帰

使用する指標は、①FCFと資産整備収支の乖離、②債務償還能力、③基金、現金・預金（決算剰余金）の推移です。これらの指標の推計結果（決算）は、財務諸表の中で公表していきます。

1 FCFと基金

- FCFの確保（経常収支黒字の確保）

施設更新だけでなく、事務事業の見直しも行い、FCFの創出に努めます。最優先する目標は、推計期間のFCF黒字化ですが、当面は、実施計画¹の一般財源（38ページ参照）と特会への建設費繰出の合計額を「資産整備収支赤字」と見立て、これに見合うFCFの創出を目指します。

- 財政調整基金最低保有額

10億円（標準財政規模の約2割）以上の確保を目指します。最低保有額を5億円（災害時は除く）とします。

2 債務償還能力

適正な債務残高は、経常的収支黒字の大きさにより判断します。純地方債残高を経常的収支黒字で除して求める債務償還能力を使用します。債務償還能力の上限を10年とします。

債務償還能力の通常上限を10年と位置付けた理由は、財政状況が悪化したとき、資産形成のための投資をすべてあきらめ、経常的収支黒字で地方債を返済していくと仮定した場合、10年で完済できるラインを目安にしているためです。

一度膨らんだ債務を健全な状態に戻すには10年、20年といった長い期間を要します。そのため、決算状況から「経常的収支」と「純地方債残高」を推計し、早い段階から両者をコントロールすることによって、上限ラインを守ります。

¹ 事業の実施に向けた年次計画です。町の総合計画に基づいています。計画期間は3か年で毎年度改定します。

単に地方債の上限だけを意識するのではなく、特に両者を関連づけながら説明するケースでは、「10倍ルール」と呼ぶこととします。

10倍ルールを達成するためには、早い段階から「複数年でどれだけの成果を挙げよう。」といった考え方を持つ必要があります。地方債残高総額は変わらなくても、経常的収支を上積みしたり、決算剰余金や基金への積み増しをしたりすることができれば、純地方債残高を減少させることができます。図表6-1は、順当シナリオにおける、経常的収支と純地方債残高、債務償還能力の推計です。平成30年度以降、債務償還能力が10年を超えます。

図表6-1 順当シナリオの3項目見通し

単位：百万円

	第Ⅰ期			第Ⅱ期			第Ⅲ期		
	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
経常的収支	1,107	932	1,162	1,117	1,165	1,012	855	740	740
純地方債残高	5,901	6,010	6,879	7,463	7,136	6,915	7,684	7,577	8,708
債務償還能力	5.33	6.45	5.92	6.70	6.13	6.84	8.99	10.24	11.78

3 ルールの逸脱と回帰

これまで述べてきたルールを、毎年度遵守することは不可能です。大きな事業を行う年度などルールを逸脱する場合があります。そのときは、いつまでにルールの範囲内で回帰するかといった複数年視野（回帰計画）を持つこととします。このような弾力性も持ち合わせなければ、財政運営は成り立ちません。逸脱は「悪」ではなく、複数年視野を持って逸脱することが重要と言えます。

- ④ 債務償還能力（10倍ルール）は、キャッシュ・フロー計算書の経常的収支から地方債の総量が身の丈にあっていようかを判断するものです。
- ④ 全体の収支を検証する場合は、FCFと、資産整備収支（通常赤字）を比較することになります。FCF黒字の範囲内に資産整備収支額を抑えていければ理想的です。FCFを上回る資産整備への投資は、基金や現金・預金を減少させます。経常的収支の黒字がいくらあっても、投資・財務的収支の赤字¹が大きければ、全体の収支は減少してしまいます。
- ④ これらのルールは、町全体の大きな視点のルールです。個別事業を見る視点では、事務事業評価や施設別・事業別財務諸表などを活用して、どの事業から見直しをしていくか優先順位などを前もって決めておくことも重要です。今後は、「事業や施設ごとに来館者何人以下が続いたら、いくら以上の赤字が続いたら事業の在り方を見直す」、そういったルールを織り込んだ事務事業評価、施設別・事業別財務諸表を目指します。

¹ 地方債の償還元金は、すべて投資・財務的収支に計上されています。地方債の発行が増え、償還元金が増加すれば、投資・財務的収支の赤字も膨らんでいきます。

財政のルール

8 平成 37 年度の将来バランスシート（順当シナリオより）

図表 8-1 将来バランスシート資産の部

平成22年度決算バランスシート	平成37年度将来バランスシート 順当シナリオ
資産の部	資産の部
土地 146億3,873万円	土地 125億8,930万円
建物等 199億374万円 (取得価格 348億6,533万円 老朽化比率 42.9%)	建物等 142億4,887万円 (取得価格 353億3,755万円 老朽化比率 40.3%)
物品 8億6,630万円	物品 8億4,709万円
投資等 22億4,224万円	投資等 12億7,853万円
流動資産 26億1,608万円	流動資産 10億2,827万円
合計 402億7,209万円	合計 299億9,206万円

順当シナリオのバランスシートですので、いわば目標とも言えます。資産合計、建物等とも平成 22 年度の 3/4 程度となっています。

特に、建物等の資産価値は 1/4 程度圧縮したいものです。

将来バランスシート

37 年度のバランスシート

- 土地:現状から 14%の下落を見込む。(路線価導入の可能性あり)
- 建物:更新しないと判断したものは除外、先送りと判断した施設は、平成 37 年度時点での残存価格ゼロで推計している。計画期間内に更新予定の施設は、残存価格がゼロとなった時点で再取得したと仮定し、平成 37 年度の残存価格を推計している。
- 物品:現状維持、残存価格がゼロとなった時点で再取得したと仮定し、平成 37 年度末の残存価格を推計している。
- 投資、流動資産:投資・出資と未収金、長期延滞債権、回収不能見込は現状維持で推計している。順当シナリオでは財政調整基金を 5 億円で推計している。

* 老朽化比率は、減価償却累計総額を取得価格総額で控除して算出している。そのため、大規模施設（取得価格が高額なもの）の老朽化によって比率が左右される。

図表 8-2 将来バランスシート負債、純資産の部

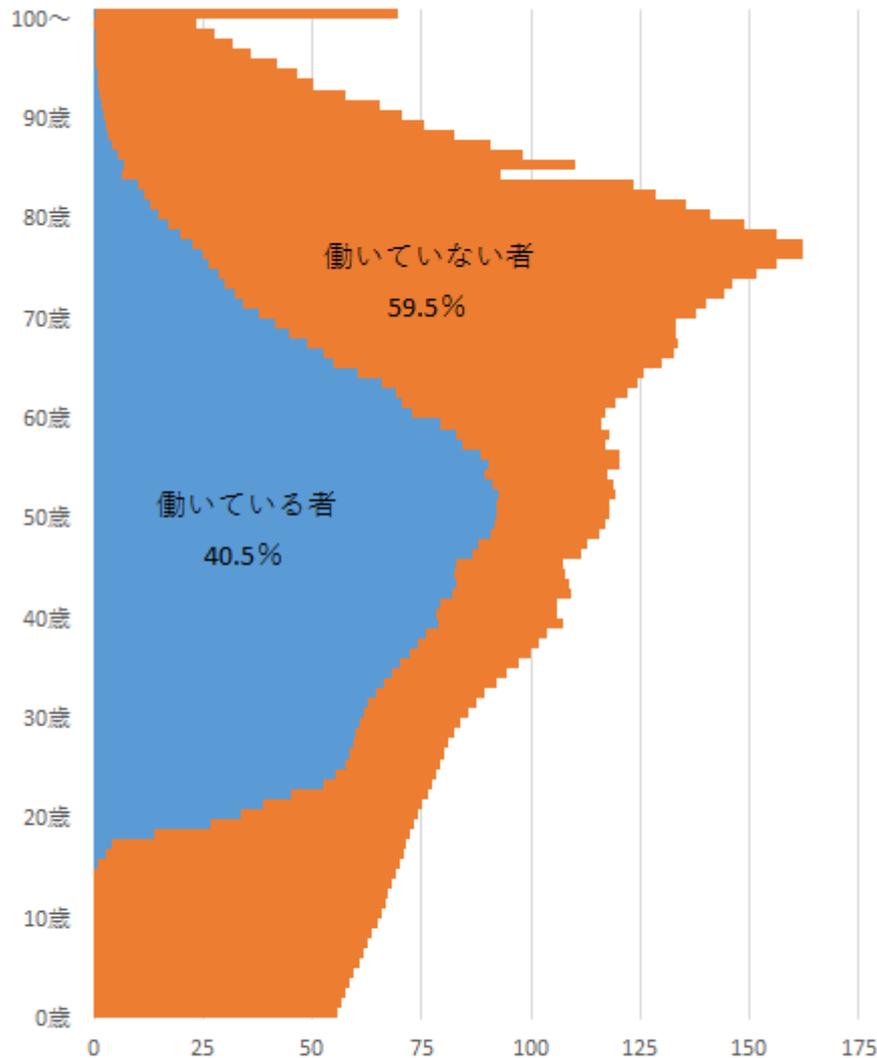
平成22年度決算バランスシート	平成37年度将来バランスシート 順当シナリオ
負債・純資産の部	負債・純資産の部
負債 78億6,760万円 (うち、地方債 62億1,178万円)	負債 107億7,808万円 (うち、地方債 91億6,669万円)
純資産 324億449万円	純資産 192億1,398万円
合計 402億7,209万円	合計 299億9,206万円

将来バランスシート

順当シナリオでは、負債が平成 22 年度の 1.4 倍程度で済んでいます。

順当シナリオからつくる
将来のバランスシート

2050年の人口ピラミッド（万人）



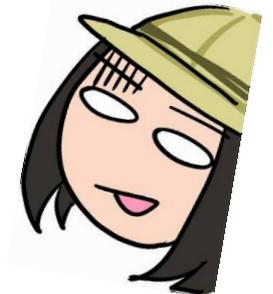
* 就業率は、2010年の各年齢の就業率を適用して計算。
資料：国立社会保障・人口問題研究所『将来推計人口』（2012年）
作成者：舞田敬彦 (@tmaita77)

つぼ型を乗り越えて、上が厚く下が薄い「逆ピラミッド」型になることが見込まれます。15歳未満の年少人口が1割強、65歳以上の高齢人口が4割近くです。文字通り、少子高齢化が極度に進んだ社会になります。☒にすると、インパクトありますねえ。

社会は成員が働くことによって成り立ちますが、今の就業率が変わらないとすると、「就業者2:非就業者3」の比になります。現在ではちょうど半々くらいですが、近未来では、働かない人（従属人口）のほうが多くなると。

まあ、未来社会では高齢者の就業率が高まるでしょうし、外国人労働者やAIロボットの協力も見込めますので、そんなに悲観することはないと思いますけど。

こんなデータも



●現状認識

老朽化が進んでいく公共施設、増大する社会保障関係費、減少する税収など多くの課題を抱えています。

●目指すべき場所

戦略

総合計画や各種計画、公共施設の更新問題も織り込んだ中長期財政見通しなどから、目指すべきところをイメージします。すべての施設や事業をこのまま残せば、自治体運営は立ち行かなくなります。

各種計画や財政見通しにより不足する財政の幅も算出することで、目指すべき場所が決まった。



よし。
でも、次は何をすればいいの???

3 自立へ セグメント情報

～目指すべき場所に向かう交通手段～



ゼリーのような食感
「紅まどんな」

「砥部焼」



「砥部動物園 白くまピース」



●財務諸表～公会計で思い浮かべるイメージ～

担当部署 「財政担当の仕事で我々には関係ないし・・・」



新地方公会計制度に おける財務諸表



公会計と言ってもいろいろな意味がありますが、ここでは、新地方公会計制度に基づく財務諸表について説明していきます。



財務諸表は、バランスシート、行政コスト計算書、純資産変動計算書、キャッシュ・フロー計算書の4つの表で構成されています。

バランスシートや行政コスト計算書では、実際にはお金の支出がなかった減価償却費などが計上されています。現金の動きだけを捉える予算や決算とは、そこが違うところですね。



キャッシュ・フロー ?



4つの表

資産形成につながる取引

の関係



資産形成以外の取引

減価償却 ?



はい、言葉が難しいですね。でも、見慣れていないだけで難しいことはないんですよ。今後の連載をご覧頂ければ少しずつ慣れてくるとと思います。

建物等は、長く使うとその価値がだんだん減少していきます。会計的にも一定期間にわたってその価値を減少させていきますが、これを減価償却と呼んでいます。



●キャッシュ・フロー計算書

経常的収支額 12億円
公共資産整備収支額 △4億円
投資・財務的収支額 △10億円
当年度現金増減 △2億円
期首歳計現金残高 7億円
期末歳計現金残高 5億円

●バランスシート

資産 415億円 (現金5億円)	負債 80億円	純資産 335億円
------------------------	------------	--------------

●行政コスト計算書

経常行政コスト 65億円
受益者負担収入 4億円
純経常行政コスト 61億円

●純資産変動計算書

期首純資産残高 333億円
純経常行政コスト △61億円
税金や補助金 63億円
臨時損益ほか 0.5億円
期末純資産残高 335億円

コストなので純資産を減少させます。(マイナス表示)。

●バランスシート・・・資産、負債、純資産(自己資金)の状況を示します。

●行政コスト計算書・・・資産形成につながらなかったコストの状況と受益者負担収入を示します。

●キャッシュ・フロー計算書⁵・・・バランスシート現金の1年間の動きを示します。

●純資産変動計算書⁶・・・バランスシート純資産の1年間の動きを示します。

※数値は25年度決算普通会計分です。

4つの表をつくり、ホームページや広報で公開することが目的？

「みなさん、財務諸表をご覧ください。資産400億、負債80億です。」これだけの解説や説明を見て、聞いて、住民はどんな感想を持つでしょう？



「へえ～」

「難しい話はちよっとのお～
今が良いのか、悪のか、
それだけ分かればええんじやが・・・」



「すみません、特に興味がないです。」

では、財務諸表を中長期財政計画と一緒に紹介し、「今後、公共サービスは今までのようには受けられなくなりますね。公共施設を半分くらいにする規模の改革が必要です。みなさんは、子どもや孫たちにどのように説明しますか。」となれば、財務諸表をただ見ただけるときとは反応が随分違ってくるのではないのでしょうか。

⇒どんな資産があるの？老朽化具合は？

⇒どれくらい借金があるの？

⇒預貯金はどのくらいあるの？

⇒私たちは、いつまでに何をどれくらいあきらめないといけないの？



施設や事業の詳細なデータがなくては議論できない！

施設別・事業別財務諸表



第1 施設別・事業別の財務諸表作成にあたって

1 目的

砥部町では、指定管理者導入や民間委託を進めています。このような取組を理解してもらうためには、事業や施設に係る資産やコストの状況を整理し、分かりやすく公表する必要があります。施設ごと、事業ごとのデータを整理することで、現在の問題点を浮き彫りにし、次の予算に生かしていく。そのためのツールが、この施設別・事業別財務諸表となります。

ぼじゅっと隊長

砥部町の財政をウォッチします。

2 事業別・施設別の財務諸表の作成効果と活用方法

作成効果と活用方法として、次のような点が挙げられます。

- ①民間に近い基準で、官民のコスト比較を行う。結果、その事業に費やしたコストが妥当であったかどうかを判断
- ②自治体、銀行、地元シンクタンク、企業など情報交換、協働への足掛かり
- ③どの程度コストが掛かっているかを多くの人に認識してもらう。
- ④施設では、管理経費の削減や統廃合、施設使用料改定の参考とする。
- ⑤町の職員一人一人の意識改革（事業コストや財源の認識など）に繋げる。
- ⑥どの事業や施設に重点配分するか、優先順位をつける資料として活用。

3 対象とした事業、施設

今回対象とした施設・事業は、次のとおりです。

幼稚園	保育園	小学校	中学校
福祉施設			
砥部老人憩の家	広田老人憩の家	老人生活がいの家	老人福祉センター
高齢者福祉センター	高齢者福祉センター		
保健センター	こみ処理事業	浄化槽特会	
農業振興事業	林業振興事業	観光振興事業	
砥部焼伝統産業会館	陶芸創作館	とへ温泉特会	
町営住宅	消防・防災施設	図書館	
給食センター	公民館	山村留学センター	坂村貞民記念館

*とへ温泉特会、浄化槽特会は普通会計に属する特別会計です。

4 作成の基準

砥部町の財務諸表の基準に準じて作成しています。ただし、正職員の人件費については、事業や施設ごとに算出しているのではなく、町全体の職員給与の平均に配属人員数を乗じて算出しています。人事異動に伴って、人件費が大きく増減すると経年比較が分かりにくくなりますので、このような計上方法としています。

(10) 陶芸創作館

資産1億2千万円は、すべて純資産で形成されています。昭和58年築で築後30年が経過しています。

図表32 陶芸創作館バランスシート

単位：千円

資産の部		負債の部	
			0 (0)
土地	62,150 (62,150)	純資産の部	119,053 (91,906)
建物	54,220 (27,832)	資産整備国庫補助金	9,583 (10,042)
物品	2,683 (1,924)	資産整備一般財源	118,382 (84,454)
		資産評価差額	△8,892 (△2,590)
資産合計	119,053 (91,906)	負債・純資産合計	119,053 (91,906)

*表中、括弧内の数値は、前年度計上額です。

【正職員0⇒0名】

今年度取得した資産は、2,892万4千円でした。

- ② 砥部町陶芸創作館外壁等塗装工事 2,773万9千円
- ③ 自動焼成装置 79万8千円
- ④ 真空土練機 38万7千円

図表33 陶芸創作館行政コスト計算書

単位：千円

	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
人にかかるコスト						
物にかかるコスト	15,659	19,197	14,943	15,345	30,894	14,823
物件費	2,709	2,895	1,325	2,221	17,881	1,796
施設管理費	99	196	196	192	184	184
買金	6,466	6,450	6,419	6,670	6,351	6,522
原料料費	3,580	3,810	3,767	3,186	3,024	2,899
光熱水費	1,651	1,471	1,425	1,323	1,331	1,549
経常繰越費		3,066	601	220	292	96
減価償却費	1,254	1,309	1,210	1,533	1,831	1,777
コスト合計	15,659	19,197	14,943	15,345	30,894	14,823
受益者負担収入	15,122	14,939	13,632	11,724	10,115	10,088
受益者負担割合(%)	96.6	77.8	91.2	76.4	32.7	68.1
差引	△537	△4,258	△1,311	△3,621	△20,779	△4,736

戦術

● 目指すべき場所に向かう交通手段

施設・事業単位で、今、抱えている問題や課題をどのように解決、改善してきたか、さまざまな情報をもとに施設や事業をマネジメントしていきます。

● 各部署が自立

以前、本町にて施設別・事業別財務諸表を作成していたときは、時間と手間暇がかかっても担当につくってもらっていました。担当自らがセグメント情報を作成し、分析し、予算に活かし、そして住民にいつでも説明できるようになってもらえればと思うからです。結果を自分たちで分析し、考え、動く。部署の自立がこれからは大事になると私は考えます。

動く 動かす

参考 実現には難しい問題も多々ありますが、こんなことできたら・・・

① マネジメント単位・責任単位

- 「係(本町は課までしかない)」をマネジメント単位・責任単位として設定し、予算科目である「目」と一致させられないか。「係=目」、「係の仕事=細目」
- 予算、執行、決算、決算分析、改善案、次年度予算とチーム(係)でマネジメントしていく。自分たちの担当施設や事業が上位施策にちゃんと貢献できているのか、自立したチームであれば、ずっと分析と改善が続いていくことでしょう。
- チームとして本当の意味で機能しはじめたら、人事異動でメンバーが代わっても、事務処理や思想までちゃんと引継がれるのではないか、1年だけの成果だけでなく、複数年の成果もちゃんと視野に入るのではないか、人事評価は個人の前にチームでやったらどうなるのか・・・

②-1 施設別・事業別財務諸表(一部)にロジックモデルの設定

- 施設や事業を評価するとき、単にコストが高いか低いかだけで評価してしまうと、コストの高いごみ処理施設などの評価が低くなってしまいます。しかし、上位施策が環境配慮ということであればどうでしょう。コストは高くついたとしてもダイオキシンやCO₂の削減効果が大きければ、評価が高くならなければおかしいですよね。つまり、一律の評価ではなく、それぞれの施設や事業に応じて評価すべきではないでしょうか。
- 老人福祉施設などではどうでしょう？収入はないですが、利用者が多い。この場合は住民からのニーズが高い施設と言えるかもしれません。住民の満足度を数値化することは困難ですが、たとえば、「利用者数一人当たりのコストが低い(あるいは逸減)方が良いモデル」と設定すれば、利用者の多い施設の評価を高くすることも可能です。利用の満足度をこのような形で評価できれば、施設や事業の存続に関して、より納得のできる優先順位を考えられるのではないのでしょうか。

②-2 ロジックモデルが決まったらシナリオプランニング

次はシナリオプランニング。例えば、今は黒字であるA施設に次のような3つのシナリオを描いてみます。最高シナリオ、通常シナリオ、最悪シナリオ。そして、それぞれのシナリオに戦略、トリガー、対応策をセットしてみます。

A施設

シナリオ作成	最高シナリオ	通常シナリオ	最悪シナリオ
戦略	〇〇増に努める	コスト削減	人員削減、事業廃止・縮小
トリガー	-	赤字50万円以上	赤字100万円以上
対応策	-	職員1名減	職員1名減 事業縮小

シナリオ作成	いくつかのシナリオで将来を推計
戦略	各シナリオで目的が達成されるために必要な条件、やるべきこと。
トリガー設定	あるシナリオから別のシナリオへと変化する兆候を明確にする。
トリガーのモニター	トリガーとなる指標を継続的にチェックする。
トリガーの発動	次の予想していた対応策をとる。

さて、A施設が、開設後初めて50万円以上の赤字を出してしまったとします。そうすると、最高シナリオから通常シナリオに変わるトリガーが発動されます。結果、職員を1名減にする対応策がとられることとなります。厳しいようですが、このようなシナリオがなければずるずると何年も赤字をひきずってしまうことになりかねません。予算に公会計を活かしていくには、セグメント情報は欠かせないし、かつ、このようなオプションがなければ機能するものにはなかなかかならないのではないのでしょうか。

※自立なくしては、トリガー設定のラインも対応策もそれらを議論することも、公表することも難しい。

4 自立から対話へ まちづくり体験塾

～対話で枠を越えていこう～





● 自立から対話へ

前章では、自分たちで考え自立することについてみてきました。続いてこの章では、自立が進んだとき、ほかの自立したセクションとの対話により全体最適を探るということについて考えてみます。限られたお金で全てを手に入れることはできません。真に必要な施設や事業は何か、そして何をあきらめるのか、ひとつの部署だけの判断を寄せ集めるのではなく、自立したみなさんが部署を越え対話を始めなければいけません。



対話型財政シミュレーション ゲーム「SIM2030inとべ」

- ・SIM2030
- ・振り返り
- ・投票
- ・再び現実へ

まちづくり体験塾

2017年8月9日、10日

- ・大塚成男氏基調講演
- ・まちの財政見直し
- ・レクチャーノート
- ・ふせん紙仕訳ゲーム
- ・バランスシート探検隊
- ・SIM2030inとべ



砥部町総務課

まちづくり体験塾

平成29年8月9日(水)、10日(木)の2日間に渡り開催。

このイベントは、

- ⇒まちの財政状況や人口ビジョン、将来の見通しを見ながら財務諸表を確認
- ⇒公共施設の老朽化や更新、質、評価について実際に公共施設を巡って考える
片手に持ったレクチャーノートは、簡単な施設別財務諸表である
- ⇒レクチャーノートの数字が意味するものは何か、ふせん紙仕訳ゲームで仕訳から財務諸表が出来るまでを体験することで、財務諸表の理解も進む
- ⇒松山大学経営学部溝上ゼミのほか松山市選挙管理委員会からは選挙コンシェルジュ(大学生)が参加
- ⇒最後は、SIM2030。参加者は、これまで得た知識を活かしながら、どの施設や事業の優先順位が高いのか、架空のまちの幹部職員となり幹部同士が対話を重ねながらまちづくりを考えていく。事業を実施するのか、しないのか、借金をするのか、しないのか、議会対応も経験しながら10年後までの予算を成立させる。砥部町版のシナリオを書きおろし、複数の突発イベント発生!
- ⇒SIM2030では、施設見学で体験した内容が机上でも次々とリンクしていく。選択することの難しさが倍増する!!

○8月9日(水)初日午前

まずは、まちの財政状況や人口ビジョン、将来の財政見通しなども見ながら財務諸表を確認。レクチャーノート(簡単な施設別財務諸表)を片手に公共施設を巡る。ただし、見学のその前に、仕訳からどのようにして財務諸表が出来るのか、ふせん紙を使って仕訳から財務諸表が出来るまでを体験する。



②400万円の家を建てました。借金200万円と現金200万円で支払いました。

- 400万円の家を建てたので資産増
- 200万円の借金をしたので負債増
- 200万円の現金を支出したので資産減

※ふせん紙は3枚使ってください。

仕訳の定数表	
借方	貸方
資産の増	負債の増
純資産の増	純資産の増
負債	収益

資産増	負債増
建物 400万円	借金 200万円
	資産減
	現金 200万円



バランスシート	
資産増 土地 500万円	負債増 借金 200万円
資産増 建物 400万円	
資産増 現金 50万円	
資産増 現金 700万円	純資産増 純資産 700万円
資産減 現金 500万円	純資産減 コスト収支赤字 50万円
資産減 現金 200万円	
資産減 現金 100万円	
850万円	850万円



仕訳から財務諸表作成まで。ふせん仕訳ゲームなら、簡単じゃん!

○8月9日(水)初日午後

午後からは、実際に公共施設を巡った。

橋、橋の下



こんなところから橋を見るなんて。道路や橋、普段気にしないけど、めっちゃお金かかるやん!

老人福祉施設



バランスシートには数値があがらない古い施設。でもたくさんの方が使ってる・・・

ごみ処理施設(RDF)



ごみを固形化燃料に。コストはかかるが環境配慮を重視してるんだな。

○8月10日(木)2日目午前
引き続き公共施設見学

廃校となった小学校(木造)校舎



人が減り、いろいろな施設がなくなるとコミュニティが崩壊してしまわないか?

建設されたばかりの
学校給食センター 給食を実食!



1食あたりのコストを考えながら実食
新築のセンターだから、この給食の
コストの中にはたくさんの減価償却
費が入ってるんだなあ～

○8月10日(木)2日目午後

いよいよ最後のプログラムとなるSIM2030。2日間で得た知識をフル活用した。



架空のまちの部長さんたち(参加者)があつまり、自由に使えるお金が減少する中、何を優先してまちづくりをしていくか、限られた時間の中で取捨選択をしていきます。さて、どんなまちができたかな? 各チームプレゼンのあとは、投票で優勝チームを決めます!!

参加者の声

- ほかの部署の仕事内容も知っておかないと話し合いができない。
- 何を優先させ、何を廃止・削減させるか決断することの難しさを感じた。
- あきらめた事業にも、その事業を必要とする人がいる訳で・・・
これがゲームでなかったら、やめる理由をちゃんと説明することができただろうか？
- インフラ、ライフラインにかかるお金の大きさが気になった。やめることがなかなか出来ないものなのに・・・今のうちに、もっとみんなで考えておかないといけないことなんじゃないかと思った。
- 古い施設でバランスシートに数値も計上されないし、収入もない施設であってもおじいちゃん、おばあちゃんたちがたくさん集まっていた。公共施設の質とか評価とか優先順位とは何なのか分からなくなった。
- 会計と投票の関係は考えたことがなかったが、未来を見据えた政策ができていれば、有権者の投票行動に結び付くのではないかと考えさせられた。

※平成29年度には、「まちづくり体験塾」の取組みが公会計と主権者教育を併せた体験型のイベントとして選挙関係分野でも注目をされました。

統一された公会計基準 自治体を越えた施設や事業のマネジメント

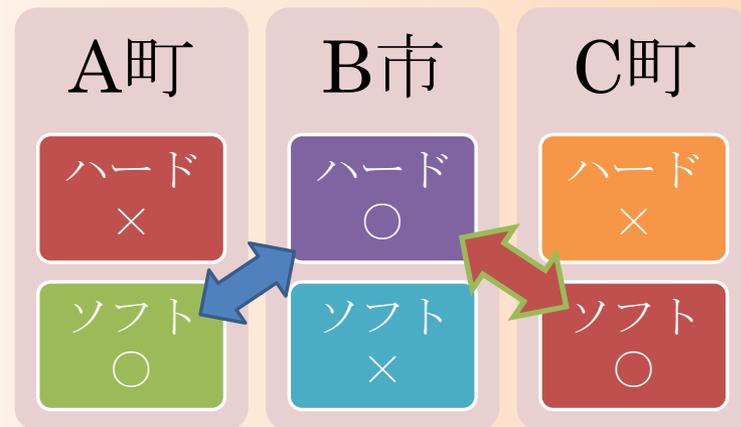
- 多くの自治体でセグメント情報の公表が進めば、近隣市町村との連携ができるかも?地方の小規模な自治体では官官連携も大事!単独思考からエリア(広域)思考へ。
- 施設や事業ごとの危険ライン、撤退ラインがイメージできるか。自立したチームなら、ピンチのときでも官官連携などのアイデアも。近隣自治体のセグメント情報を見る、見てもらう、これも大事になってくるのでは。
- 施設別財務諸表では、ハード(施設)部門とソフト(そこで展開される事業)部門を分けて考えてみてはどうか。住民だけでなく地元企業の方にも見てもらえれば・・・。

A町 箱は古くて使えなくなるが、ソフトは継続したい

B市 箱はまだまだ使えるが、ソフトとなる事業は廃止したい

賃貸料でお互いが Good!

近隣自治体が協働して、ハードとソフトを分割評価し、データベースを一元化する。



●対話で枠を越えていこう ～伝える、つながる～

対話は、部署を越え、自治体を越え、住民、企業、学校などいろいろな枠を越えて、エリア(広域)そのものを巻き込んでいければと考えます。使えるお金には枠がありますが、みなさんはどんな枠を越えていきますか？

広い視野でエリアに貢献していくことは、いつか自分のまちにもいいことが返ってくる、そう思いませんか。





これまでの砥部町の取組み



○これまで砥部町では、さまざまな取り組みを行ってきました。すでに終了した取り組みも多いですが、それらも含めて紹介させていただきますので参考にしてください。

① 予算仕訳

⇒仕訳パターンに合わせて予算を区分している。

② ホームページそのものをアニュアルレポートに見立てる。

③ 職員による勉強会

④ 予算特別枠の創設

⑤ 広報誌で公会計特集

⑥ 公会計と主権者教育

①画期的な思考! 予算段階から仕訳する「予算仕訳」

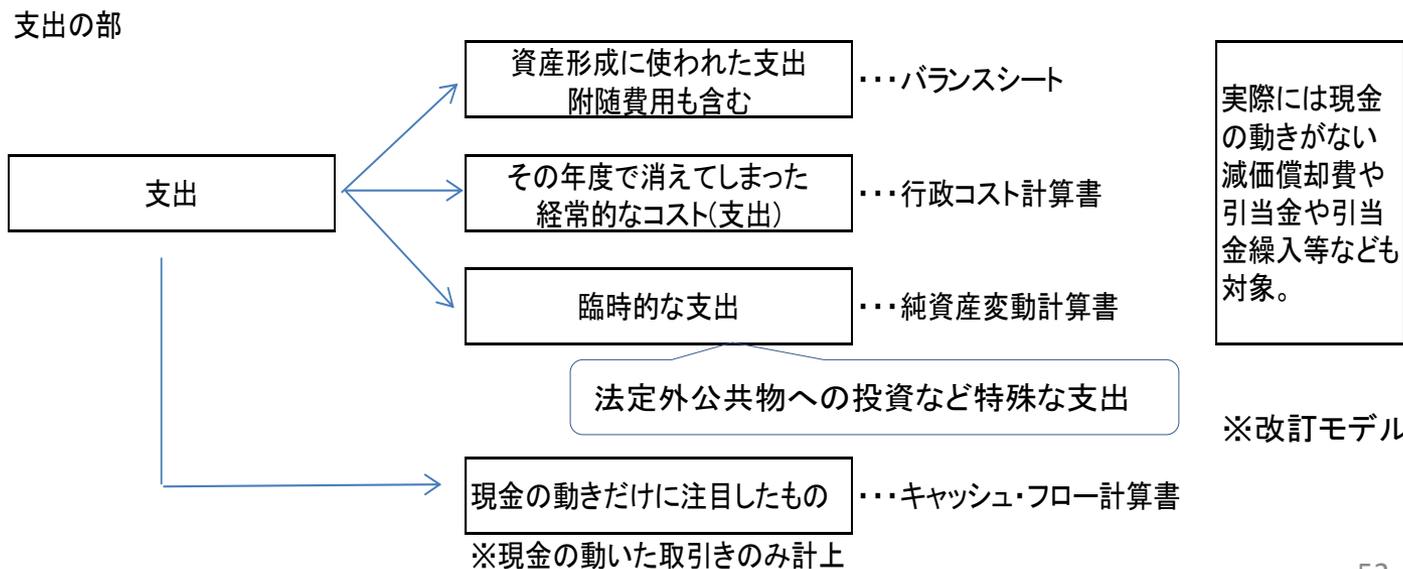
たとえば、仕訳パターンに合わせて13節委託料を大まかに区分してみると・・・

Ex. 委託料→

- ① 資産形成に繋がる委託料
- ② 資産形成に繋がるもののうち、建設仮勘定となるもの
- ③ コストとなる委託料
- ④ 臨時的なもの



システムでは、自動で判断できない!!



例えば、委託料は前述のように区分されますが、それを自動で区別するのは困難です。とすると、出納整理期間が終了したあと、財政担当課において1年分の仕訳を確認していくことになります。

⇒予算の段階から仕訳パターンに合せた細節を設定しておく、決算のときにはほとんど仕訳は終わっているようなもの。

⇒ただし、財政では支出命令や兼票を見ないため日々確認することができない。

砥部町では、平成27年4月、予算仕訳を始めると同時に公会計担当を会計課に移しました。支出命令や兼票といった伝票単位で、毎日会計課職員が仕訳を確認していきます。未払金や未収金を立てたてないので、期末一括変換方式と言えますが、可能な限り日々仕訳に近い体制を整えています。また、資産形成を伴う支出伝票には、資産台帳登録済票を添付して貰います。

⇒出納整理期間が終わると同時に仕訳と資産台帳登録が完了している。

会計課にて日々確認も済ませてある。後は決算整理仕訳を入れるだけ。

⇒期末一括でも、月例監査で月次レベルの試算表などが出せる。議会への報告や来年度当初予算の編成に活用などもスムーズに！

平成27年度砥部町当初予算書

7賃金	1,172	【02-01-05-01 総務課】	
		1庁舎維持管理事業	22,602
9旅費	110	7賃金	1,172
		①臨時雇賃金	1,172
11需用費	14,868	11需用費	12,276
		①消耗品費	396
		②燃料費	1,321
		⑤光熱水費	6,026
12役務費	2,049	⑥修繕料(資産)	729
		⑦修繕料(資外)	2,904
		12役務費	602
		④手数料(資外)	602
13委託料	6,332	13委託料	6,292
		①委託料(資産)	1,199
		・電話交換設備設計委託料	972
		・議場システム改修委託料	227
14使用料及び賃借料	2,317	②委託料(資外)	5,093
		・庁舎設備管理等委託料	3,047
		・庁舎清掃委託料	778
15工事請負費	755	・庁舎電気工作物保安委託料	246
		・庁舎庭園管理委託料	353
		・庁舎浄化槽管理委託料	247
18備品購入費	515	・非常用電源設備保守点検委託料	422
		14使用料及び賃借料	990
		③機器等借上料	857
19負担金補助及び交付金	60	⑦放送受信料	133
		15工事請負費	755
		⑤補修工事費(資産)	755
		・窓口カウンター改修工事	755
27公課費	103	18備品購入費	515
		①機械備品購入費(資産)	321
		⑦庁用器具購入費(資外)	194

修繕料でも、資産計上されるものとそうでないもの(資外)に細節を分けて予算計上。

委託料については、大きく資産と資産外というカテゴリに分けたうえで、それぞれに該当する細目を設定することにより、資産計上するものを予算の段階で特定。

翌年度の工事に対応する工事設計費などについては、今年度は建設仮勘定に集計する必要があるため、建設仮勘定部分について、分けて予算計上している。

3 給食センター改築事業費	192,964
11 需用費	85
① 消耗品費	85
13 委託料	42,431
④ 建設工事設計監理委託料(資産)	8,411
・給食センター用地造成工事設計委託料	6,595
・給食センター水道配水管布設替工事設計委託料	1,816
⑦ 建設工事設計監理委託料(建仮)	34,020
・給食センター建築設計監理委託料	34,020
15 工事請負費	49
③ 建設工事費(臨時)	49
・砥部幼稚園伐木処理工事	49

臨時も明示

実際の予算書と支出伝票

予算書

説明	金額
・水道水質検査委託料	10
・プール水質検査委託料	30
・貯水槽清浄委託料	22
・貯水槽法定検査委託料	17
②半価契約(資外)	80
・教職員健康診断委託料	67
・児童健康診断委託料	13
14使用料及び賃借料	423
①機器等借上料	268
④自動車借上料	25
⑤放送受信料	23
⑥下水道等使用料	107
15工事請負費	324
⑤補修工事費(資産)	324
・プール持機屋根設置工事	324
18備品購入費	638
①機械備品購入費(資産)	321
②庁用器具購入費(資産)	165
③庁用器具購入費(資外)	152
19負担金補助及び交付金	10
⑥その他負担金	10
・県学校保健会保健主事部会負担金	2
・県学校保健会養護教員部会負担金	3
・県青少年赤十字指導者協議会負担金	1
・全国へき地教育研究連盟負担金	1
・テレビ組合負担金	3
0-02-01-06 学校教育課]	7,850
広田小学校管理費	1,895
7賃金	1,895
①臨時雇賃金	24
8報償費	24
①報償金	3,245
11需用費	841
①消耗品費	200
②燃料費	5

支出伝票

項	01	総務管理費
目	02	文書広報費
細目	01	広報紙・広聴事業
節	18	備品購入費
細節	01	機械備品購入費(資産)
説明	00	
支出負担行為済額		1

印紙	住所
受取人	氏名
BS物品	CF①資産形成

伝票欄外

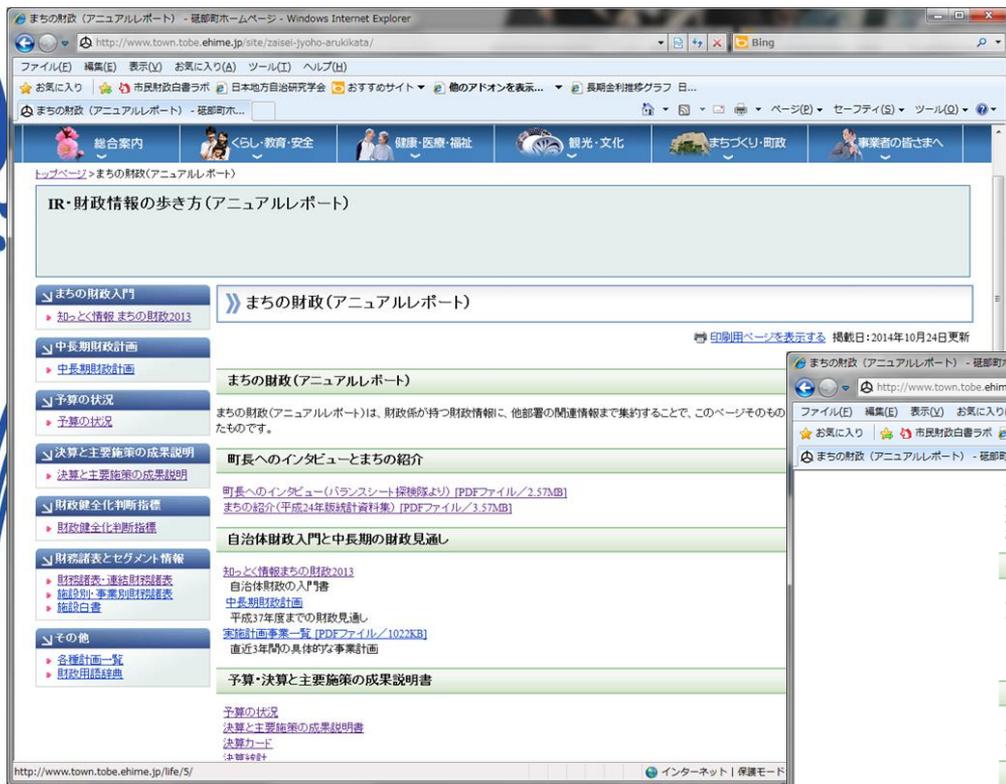
資産形成となる支出伝票には、必ず資産登録済の伝票も添付する。計上漏れなどを防ぐ内部統制!



資産台帳登録済票

般会計		取得資産登録伝票				欄
決		算				
平成27年度	資産番号	427051000001				
10	一般会計					
0101012010	総務課					
01020101060100010001	物品					

② ホームページそのものをアニュアルレポートに見立てる。



自治体は財政規模の大きさもさることながら、仕事の守備範囲も相当広いわね。凄い情報量になっちゃう！

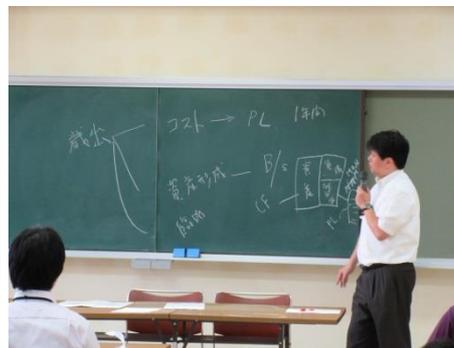


課や係を超えて財務情報をここに集約！一つひとつの資料はシンプルだけどホームページそのものをアニュアルレポート(年次報告書)に見立てているのね。上から順番に見ていくと分かりやすいわ。

③ 自立するためには、まず職員自らが勉強!

あなたは、自分が担当している事業や施設を施設別・事業別財務諸表を使ってちゃんと現状、将来像を住民に伝えられますか?また、町全体の事業や施設の中での優先順位はどのあたりですか?

砥部町公会計推進プロジェクトチーム勉強会のようす。自分の担当している施設や事業について決算分析を踏まえて、これからどうしていきべきか、次の予算にどう活かしていくか、ちゃんと伝えるためには、まず自ら勉強しなくては!



平成28年度をもって当初の目的を達成したということで解散となりました。それまで数年間に亘り、月に1回程度公会計ほかいろいろな勉強会を開催していました。財務諸表や仕訳はもちろん、アセットマネジメントや債権債務、財政のことなどまで勉強の対象です。部署を問わず、担当かどうかも問わず、みんなが継続して勉強を続けました。また、チームの中からは、簿記の資格を取得する職員もいました。

ふせん紙を使って、仕訳から財務諸表ができるまでを体験したり、体験したことを動画にしたりしました。YouTubeでも公開しています。

とべちやう
 砥部町

ふせん紙仕訳ゲーム 解説者編
 ~どうやって財務諸表はつくられるのか?~



仕訳を体験してみた!




●複式簿記のはじまり

- > 簿記の原理は世界共通
- > 13~15世紀、イタリア商人が地中海貿易で栄えた頃に発達した会計技術。その基本原理は現在の複式簿記とほとんど同じと言われています。
- > 日本で最初に西洋式簿記を紹介した書物は、福沢諭吉が翻訳した「帳合之法(ちょうあいのほう)」と言われています。




コスト計算書の増減が純資産を変動させるところをもっと分かりやすくすると・・・

商品のみきゃんを1個500円で3個購入しました。500円の手持ち資金と銀行から1,000円を借りました。

商品(資産) みきゃん3個 500×3 =1,500円	借金(負債) 1,000円 自己資金(純資産) 500円
--------------------------------------	---------------------------------------

コスト計算書

売上 1,000円	仕入れ 500円
もうけ 500円	

商品・現金(資産) みきゃん3個 1,000円 現金1,000円	借金(負債) 1,000円 自己資金(純資産) 500円 + 500円
--	--

500円で購入したみきゃんが1個1,000円で売れました。もうけた500円は、純資産の部で500円を増加させています。また、資産側では、500円のみきゃんが1,000円の現金に変わっています。

④ 予算特別枠の創設

砥部町の平成28年度当初予算において、中長期的なコスト削減に繋がる事業に積極的に予算を配分する「予算要求特別枠」を設定しました。総務省からは、公会計による財務書類の予算編成への活用や中長期的なコストの「見える化」により、限られた財源を賢く使うものと評価され、同省ホームページにて行革優良事例として紹介されました。削減効果の測定は、平成28年度決算分の施設別・事業別財務諸表で行います。

〈公会計の予算編成への活用/愛媛県砥部町〉

【取組】

- ・平成28年度予算編成において、公会計を活用した「予算要求特別枠」を設定。
- ・中長期的なコスト減につながる事業（照明器具のLED化、高耐久性部材の導入等）については、通常の予算要求枠とは別枠での予算要求が可能。
- ・各部局は施設別の行政コスト計算書等の財務書類を審査資料として財政課に提出（中長期的なコスト減の立証）。

年間コスト比較（イメージ）

	初期費用	減価償却費
通常の照明器具	300万円 →	150万円
LED照明器具	1,000万円 →	100万円

【施設別の行政コスト計算書（試算）の抜粋】
初期費用は通常の照明器具の方が安い、中長期的にはLED照明器具の方が…
年間50万円のコスト減

※耐用年数について、通常の照明器具は2年、LED照明器具は10年と仮定

【効果】

- ・「予算要求特別枠」を創設することにより、財務書類を予算編成に積極的に活用するという意識の醸成が図られた。
- ・公会計による財務書類で中長期的なコスト（減価償却費等）を「見える化」して予算編成に活用することで限られた財源を賢く使うことを促進。

総務省の行革優良事例に選ばれました。

⑤ 広報誌で公会計特集

砥部町の広報誌にて、多くの方に公会計を知ってもらう取り組みを行いました。平成広報6月号にて特集「公会計をもっと身近に!」(別冊)の掲載を皮切りに、平成28年11月号まで連載を行いました。

別冊 広報とべ

特集

公会計をもっと身近に!





来月号の広報誌から、連載「公会計をもっと身近に!」がはじまります。この特集ページは取り外しができるので、ぜひ保管しておいてください。

- 1 -

別冊 広報とべ

なぜ 公会計 が必要な?

公共施設の現状

公共施設の現状に関する説明とイラスト。

公会計って?

公会計について説明するイラストとテキスト。

公会計は、平成29年度をめどに全国的に統一される新しい基準に変わります。(詳細は来月号以降で)

- 2 -

別冊 広報とべ

新地方公会計制度 における財務諸表

公会計と異なるいろいろな意味がありますが、ここでは、新地方公会計制度における財務諸表について説明しています。

4つの表の関係

4つの表の関係に関する説明とフローチャート。

- キャッシュ・フロー計算書
 - 経常的収支額 12億円
 - 公共施設収支額 14億円
 - 投資・財務的収支額 11億円
 - 営業活動収支額 22億円
 - 経常的投資収支額 7億円
 - 期末純資産増加 5億円
- バランスシート
 - 資産 41億円
 - 負債(借入金) 33億円
 - 純資産 8億円
- 行政コスト計算書
 - 経常的コスト 65億円
 - 専当委託料収入 4億円
 - 経常的行政コスト 61億円
 - 経常的経費 63億円
 - 経常的経費差 2億円
- 経常的収支計算書
 - 経常的収支額 333億円
 - 経常的行政コスト 61億円
 - 経常的経費差 63億円
 - 期末純資産増加 335億円

- 4 -

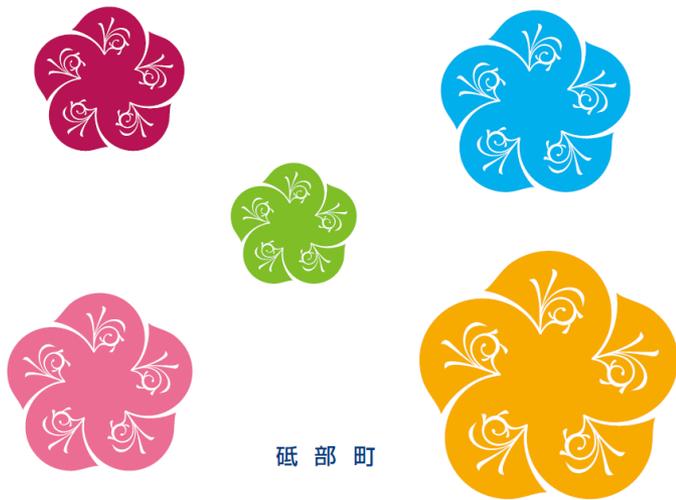
※早稲田大学パブリックディスクロージャー表彰2015・・・アウトリーチ部門にて努力賞を受賞。

⑥地元松山大学の法学部(まちづくり)や経営学部で公会計のことを紹介。公会計と主権者教育を結び付けています。



公会計を知り、選挙マニ
フェストを読み、選挙に行こ
う!!

砥部町ブランドマーク



砥部町

791-2195

愛媛県伊予郡砥部町宮内1392番地

<http://www.town.tobe.ehime.jp/>



あそびべ、とべ。



四国 | えひめ

砥部
T O B E